京城日報

七日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金六十錢(郵送前金)一ケ月金六十五錢 三ケ月金壹圓九十錢 六ケ月金三圓七十錢▲郵券代用は一割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲特別欄內一行金壹圓▲二號活字は三號活字の一行は二行▲一行は五號活字同樣▲一號活字は四號活字の
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 峯口政太郎
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯用 二二四番 營業用 三二一番 振替貯金口座京城三〇〇〇番

◎四國財團と鹽稅問題

四國財團は鹽稅讓與に對し五百五十萬元を北京政府に交付せるも右金額の內日本政府の取分八十萬元は之を保留する事となれり是れ日本政府のみ他財團と步調を異にし單獨交付案に反對を表明せし結果なり(東京電報)

◎ヴエルダンの空中戰

佛軍はヴエルダンの前面に當るドーモンの南方に勝利を得若干隻の佛國飛行機は鐵道停車場に爆彈を投下せり偷ほ十五隻の獨逸飛航船はヴエルダンの戰爭に參加せしが一隻の獨逸飛航船は破壞せられたり(紐育電報)

◎危險次第に加る和蘭

海牙來電に依れば和蘭政府の公示せる處に曰く近頃政府の警戒的措置を取るに至れるは當國の被れる危險の次第に增加し來れるによる今は其事情を說明する時機に非らず但し別に政治的紛糾の存する爲に非ずと(紐育電報)

◎英獨の海戰

獨逸艦隊は那威海岸沖に於て英國艦隊と會戰し一隻の獨逸驅逐艦は多大の損傷を被れりと報ぜらる(紐育電報)

◎伊相更迭

伊國陸軍大臣ツーペル氏辭職しモツソニ將軍之に代れり(倫敦電報)

◎對本邦品緩和

英國政府は奢侈品輸入禁止案に對する我政府の交涉に接し漸次我商品に對し特に緩和策を採るべき傾向を呈し來れり(東京電報)

◎內債條件決定

政府は六日の閣議に於て內債四千萬圓發行に關する引受銀行團との條件を決定せり(東京電報)

◎名士の渡臺 東京相撲一行乘船

男爵後藤新平氏夫妻は臺灣共進會參列の爲め渡臺の途郵船信濃丸にて門司寄港せり尙同船に岐堀大阪商船社長、新渡戶博士等の名士並に鳳、大錦等の東京相撲一行十六名乘込み居れり(門司特電)

◎改野江藤兩氏渡鮮

改野耕造、江藤哲藏の兩氏七日朝入港の連絡船弘濟丸にて著釜同十時三十分發列車にて京城へ向へり(釜山特電)

◎滿洲の形勢漸く不穩 段將軍頻りに警戒す

北京政府は大局維持の名の下に出來得る限り南方と妥協せんとし妥協成ならざれば段祺瑞、張勳、馮國璋等各軍官をして南方討伐に當らしめ袁總統は其まで退職せざることに方針決定せるが如く之れと同時に昨今頗る滿蒙方面の形勢に注意し最近奉天に段將軍に宛て重要なる秘密電命を送り來れりとの說あり其の秘密電命の內容は窺知し難きも內蒙古方面にては巴布札布の率ふる一隊の蒙古軍次第に其の勢力を增加し張家口、歸化城に殺倒して北京を衝かんとする意氣組にも見ゆる爲め袁總統は此の蒙軍を牽制する目的にて先頃蒙古の事情に通ずる第三子に多數の從者を附して入蒙せしめたるが更に種々の方法を以て蒙古各王公の懷柔に努め有らん限りの力を致し同時に滿洲方面に於ける宗社黨及び革命黨の動靜に微細の注意を拂ひつゝあり飜つて滿洲方面の形勢を視るに今日のところ未だ左したる動搖を呈せざるも吉林及び奉天、安東、營口の各地には現に多數の革黨員入込み一方馬賊と通じ一方宗社黨と結び暗中に飛躍して盛んに反袁熱を鼓吹し居るもの如く現に湖北會の反袁派は滿洲各地に遊說員を派遣し來り曾て湖北軍參謀たりし曹亞東は奉天に潛入し各軍隊に向つて頻りに煽動を試み居る樣子なれば蒙古に於ける巴布札布軍の行動如何と共に滿洲にも何時如何なる動亂の發生を見るに至らんも知るべからず猶ほ雲貴獨立政府よりも二十七八兩師及び右路後路兩巡防隊の重なる軍官に對し南方起義の理由を說き奉天省も速に獨立す可しと激烈なる勸誘を試み來れる由にて軍官等の內多少心を動かせる者ある爲段將軍の態度一方ならず昨今內外に向つて嚴重なる警戒を加へつゝあり因みに段將軍は南北妥協不成立の場合部下の二十七八兩師兵より征南軍を組織し北軍の南方討伐に助勢せしむる手筈なりと云へるが兩師兵の多くは南軍に心を寄せ隨つて戰意なきもの過半數を占め居るとかいへば征南軍を組織するも其力推して知るべきものあり第一滿蒙方面の形勢も亦前記の如く漸次動搖の度を加へ來れる折柄多數の軍兵を割きて之を南方に送らんこと事實上不可能なるべく其の征南軍云々は段將軍が袁總統への申譯と士氣作興の一方便として殊に其聲を高め居るものに過ぎざるべしと云へり(大連)

◎總督天機奉伺

聖上陛下には六日橿原より還幸あらせられたるに付き寺內總督並に山縣政務總監は七日午前電報を以て宮內大臣に宛て謹みて天機を伺ひ奉る旨執奏方を乞へり

◎李王天機奉伺

李王殿下は七日午後四時使者を總督官邸に派して天皇陛下の還幸に對し天機奉伺の傳達方を依囑せしめられたり

◎徵稅方法改良 約束郵便にて配達

京城府にて配布する國稅及び府稅の納稅告知書は一箇年總數約十八萬枚にして此外に督促狀七萬數千通を發し何れも府吏員をして配布せしめ來りたるも京城は他の都市に比し居住者の移動激しく一年を通じて千戶內外の住民は居所を變へ居るといふ始末なり從て縱令ば家屋稅の如き一時に三萬枚以上の告知書を發送する場合にありても發布同一日なるも實際納稅者の手元に交附さるゝは十日乃至十數日を要し而かも居所不明配達不能となるか或は所々に轉々する結果は同一の告知書を二回受取ると云ふが如き奇觀を呈することもあり旁々以て京城府に於ては徵稅法の改良に就て苦心し居りしが本年度より納稅告知書は全部京城郵便局の手を經て約束郵便法に依り配達を行ふこととなり同方法に依らば郵便局は多大の手數を要するも府は多大の利便を得府吏員の手數を省き得るのみならず納稅者の轉居先に就ても容易に發見し得るに至るべし只憂ふるは約束郵便にて配達さるゝ各種の廣告用印刷物多きため是等のものと混同して告知書の紛失を來すことなきやの一點なれど配達す可き告知書は全部封筒に入れ表面に納稅告知書の文字を現すと云へば左迄不便を感ぜざる可しとする此方法は內地にありては主要都市に之を採用し居れども朝鮮にては京城府を嚆矢とすと云ふ

◎四半期の朝鮮貿易 輸移出千百六十萬輸移入千五百七十萬

▲本年三月の貿易額 は輸移出品價三百八十九萬六千餘圓、輸移入品價五百八十五萬四千餘圓にして之を前年同月に比すれば輸移出は四十九萬三千餘圓輸移入は百五十九萬七千餘圓の增加を呈せり次に本年

▲一月以降の累計 貿易額は輸移出千百六十四萬六千餘圓輸移入千五百七十五萬三千餘圓にして合計二千七百四十萬圓に上り之を前年同期に比すれば實に六百七九千餘圓即ち約三割の增加なりとす更に本年一月以降三月までの貿易額に就き

▲輸移出入の權衡 を觀察するに商品貿易に於ては四百十一萬餘圓の入超なるも此期間金銀貨及び地金の出入は流出三百十五萬六千餘圓、流入六萬五千餘圓にして三百九萬一千餘圓の出超なるを以て差引貿易總額に於ては僅に百一萬八千餘圓の輸移出超過を計上するものとす

▲本月の輸移出品 に就き前年同月に比較するに(一)牛皮は時局の關係上十九萬七千餘圓を增加し(二)棉花は米棉の價格騰貴及び船腹不足にて內地に輸入困難なる爲め朝鮮產の需用好況にして四萬二千餘圓を增加し(三)繭は輸出生絲盛況の好況に伴ひ內地蠶商の買進あり四萬餘圓を增加し(四)大豆は昨今內地物の出廻薄きに伴ひ移出を促進したる爲め十四萬餘圓の增加を告げたる等に依り、一面に於て皮革製品、煙草等の減退あるも結局如上の增進に了れり

▲輸移入貿易品 は之を前年同月に比較するに(一)概して昨秋米作の豐穰にして移出好況なりしが故に農民の購買力豐かにして棉絲棉布の移入增加し(二)支那麻布は昨年本月未だ入荷も見る可きものなかりしも本年は既に先約のもの到著あり三十五萬餘圓を計上し(三)其他軌條十五萬餘圓、食鹽三萬餘圓等の入增ありたるに依り(四)米及び粟は十二萬餘圓、雜貨亦多少の減少を示したるも合計に於ては前述の如く百五十九萬餘圓の增加を告ぐるに至れり

◎鮮鐵成績 三月中

朝鮮鐵道三月中に於ける貨客運輸成績左の如し(前年同期對比は総て增加)

	本年三月分	前年同期對比
乘客人員	四一九、三三五人	三六、三九一人
小手荷物斤數	一、〇四五、三四二斤	一二七、八八一斤
貨物噸數	一四一、四一七噸	二三、二二六噸
客車收入	三四九、八一一圓	四九、五三一圓
貨車收入	三五〇、七六四圓	三六〇、七六四圓
運輸收入	七〇〇、五七五圓	六七、五七九圓
一日一哩平均	二二四四五錢	一四九一錢

◎米界は小活況

最近阪神筋に於ける米穀の荷閑へ稍捌け五日以來定期も三四十錢方上向き朝鮮改良種玄米十一圓臺在來種上物十圓五六十錢を示すに至れると大阪商船及び尼崎汽船兩社が協商の上阪神航路の運賃を來る十日より約三割方引上ぐる事となり既に群山の如き之れを發表せるため早くも見越移出始まり運界は數日來小活況を現出し來れる釜山を首とし仁川南浦等の米穀積出しにて近時內地航行の兩商船は滿船の姿なりと

◎露貨下落

從來百留に就き六十七圓三十錢なりし日滿連絡運輸貨物引換算率は一圓三十錢方の下落を見四月七日より當分の間百留に就き六十六圓となれり

◎道長官會議(第四日)

各道長官會議第四日は七日午前十時より總督府第二會議室に開會、寺內總督、山縣政務總監をはじめ各部長官、所屬官署長官、局長並に關係各課長等參列、意見の陳述あり豫定の日程を了へ正午近く散會せり

◎日支鐵道會議 支那側滿鐵側委員決定

日支連絡運輸會議列席支那側及び滿鐵側委員左の如く決定、支那側委員は四月廿四日北京發廿七日京城著の豫定にて滿鐵側委員は東京にて開會の日露會議終了の歸途立寄る筈因に鐵道院及び鐵道局委員は未定なりと
▲支那側委員 京奉鐵道營業課長 フオーレー　同營業課監查官 陳國華　津浦鐵道營業課次席 周善同
▲滿鐵側委員 庄司鐘五郎

◎連絡委員通過

來る十日より東京にて開催の筈なる日露連絡運輸會議露國側委員一行六名は既報の如く七日午後南大門通過の鮮滿直通列車にて東上

◎新師團駐劄軍 交代輸送日割

新設第十九師團司令部は東京第一師團司令部內に設置せられ其の事務を開始すると同時に其の先發者として副官參謀既に來著、龍山なる第九師團司令部內にて是亦執務開始せる事既報の如くなるが新設第十九師團及び第九師團の交代は四月中旬より開始し五月中旬に至りて終了すべく來著各隊の先發者は各十日位前に先行し其々準備事務を執る筈なり尙來著すべき新設第十九師團諸部隊大阪發程日割左の如し
▲大阪に於て編成したる騎兵聯隊步兵第七十八聯隊第一大隊第四中隊第一中隊を集めたるもの四月十三日乘船▲騎兵第二十七聯隊第三中隊の一部同十三日他の一部は十四日乘船▲野砲兵第二十五聯隊第六中隊十四日乘船▲騎兵第二十七聯隊本部四月三十日乘船▲工兵第十九大隊四月三十日乘船▲步兵第三十九旅團司令部(市川少將)五月一日乘船▲第一師團に於て編成したる騎隊第十九師團司令部四月十二日大阪著十三日築港乘船▲野砲兵第二十五聯隊第一大隊本部及第二中隊の一部四月十八日著十九日乘船▲野砲兵第二十五聯隊第二中隊の一部同二十九日著三十日乘船▲騎兵第二十七聯隊第一中隊の一部二十九日著三十日乘船

◎四十旅團交代

派遣隊より新設第四十旅團に名稱變更を見たる部隊の全部は翌日來交代輸送中の處此程全部の終了を見たり

◎司令官晚餐會

井口軍司令官は十一日午後七時より滯京中なる各道長官を官邸に招待晚餐會を催す可しと

◎古海總長執務

古海新警務總長は七日午後より登廳親しく執務す

◎參謀長著任挨拶

駐劄軍參謀長陸軍少將白水淡氏は既報の如く六日午後八時四十分龍山著列車にて著任、驛前太陽館に入りしが七日は軍司令部に初登廳を爲し井口軍司令官に對し著任の申告を爲し終りて幕僚一同より挨拶を受け午前十一時發千輪副官を隨へ總督府に赴き寺內總督に著任挨拶を爲し更に各部長官其他を歷訪、憲兵隊司令部に古海憲兵隊司令官兼警務總長以下を訪問挨拶したる後各官衙及び各國總領事館を訪問挨拶を爲す筈にて今明日中に於て古海參謀長との事務引繼を爲す筈なりと

◎吉原總裁病狀

久しく引籠り中なる吉原東拓總裁は症狀漸次輕快に赴きつゝあるも尙ほ僅かに發熱することあり今姑らく出社し難かるべしと尤も重要社務は自邸にて視つゝありと

◎松寺檢事正巡視

松寺京城地方法院檢事正は書記一名を隨へ七日西大門監獄八日京城監獄の獄務を巡視せり

◎三宅博士入京

人蔘栽培方指導の爲め過般內地より入京開城へ出張中なりし總督府囑託理學博士三宅驥一氏は六日午後入京北門內雲峴の德富邸に入れり

◎中村辰五郎氏入京

鎮南浦の中村辰五郎氏は七日午前入京天眞樓に投せり九日まで滯京の筈

◎塚谷幹事の渡臺

東洋協會殖民專門學校京城分校の卒業生同窓會幹事塚谷孝次郎氏は同校の代表者として臺灣共進會に出席することゝなり七日朝南大門發にて釜山に向へり同氏は門司にて同協會長小松原英太郎氏と落合ひ渡臺すべしと

◎連絡會議委員と船繰

今回東京に於て開催さるべき日滿連絡會議列席の爲め東淸鐵道監查役グツキツク氏、同營業課長ゲイシル氏、同哈爾賓支社審查部長フーンフ氏、同商業部長チスチヤコフ氏同書記ツインストツク氏外從者タイピスト氏の一行は鮮滿直通急行列車にて八日午前六時十分著釜直に連絡船に依り東上につきては船室の都合上七、八日の兩日の船繰を變更なし八日朝對馬丸入港同夕出港七日夜高麗丸入港なし八日朝出港同一行の爲め特に船繰を變更したりと(釜山)

◎受驗者體格試驗

判任官見習試驗體格檢查は七日午前十一時より京城俱樂部にて施行したるが受驗者二百八十名なりしと

仁川

▲船賃問題落著 船賃値上問題其後の經過を聞くに大阪商船及び尼ケ崎汽船の兩社にては最初の申出でに對し荷主側と數回協定を遂げたる結果會社側に於て大に讓步し則ち穀類に於ては仁川阪神間門司白石に付六十二圓同橫濱間八十八圓同東京間九十七圓長崎間六十圓とし雜貨は仁川關門長崎間に付二十七錢同橫濱間四十錢同東京間四十四錢とし去る五日愈々船主間に於て決定せり即ち從來の運賃に比し僅少の値上げを見たるのみにて落著し來る二十日より之を實行することゝなれる旨武田大阪商船支店長は語れり

忠州の邑內より　日新生

▲『わしが在所で名高いものは一にタングステン二に黃色煙草三に郡廳內の狂ひ佛』てふ唄を女中に示し候處、調子が變だとて一笑に附し去り候ひしも、小生は忠州を紹介して遺憾なき名歌と自信罷在り候

▲煙草の方は目下播種期に候が本年は品質の改良上溫床設備を整へて苗の速成を計り居り候、尤も之れは一部に植栽するものなれど其れでも苗床に張る爲め七百反の白布を共同購買致せし由盛なりと云ふ可く、殊に耕作者が近時當局の指導を遵奉して熱心從業致し來れるは斯界の爲め欣慶の至りに御座候

▲狂ひ佛は歌の示すごとく忠州郡廳の門內に居住いたし居り候、釋迦か彌陀か小生には判らず候へども鐵佛にて蒙古より傳來の由に候此佛は國寶なれど堂宇を建つれば必ず火を吐くより今も尙ほ野晒しとなつて石上に胡座致し居り候、左右の手が取り除けられたるは狂ひ出す爲めかと存じ候ひしに、古くより此佛の手を削り取つて飲めば產前產後の諸病に特効ありとの傳說あり、附近の人々が削り取つてゐる內遂に無くなりたる由に候

元山

▲御大典記念事業 元山に於ける御大典記念事業の一なる金比羅山大神宮山の間に於ける公園通路幅十間全長五十間は愈々近日起工する等なるが之れが中間に景色佳き地點を撰び休憩所二箇所を設くる計畫あり而して該道路は來る五月二十三日(元山開港記念日)迄に完成を告ぐるに至るべしと

▲入學式と記念植樹 元山公立尋常高等小學校にては去る四日午前九時より新入學兒童の入學式を擧行し翌五日附近の山に同校兒童一同記念植樹を行へり

▲徵兵檢查 去る四日、五日の兩日に亙り元山商業會議所樓上に於て元山守備隊施行の徵兵適齡者體格檢查ありたり受檢者は總數八十七名▲歸還兵 持科兵修業兵進士官以下六十四名は七日夕刻列車にて著元翌八日元山守備隊より歸還の同兵種七名と共に第三琴平丸にて出帆歸還の途に就きたり▲岡部新太郎氏轉任 鐵道局元山建設事務所主任技手同部新太郎氏は今回本局勤務を命ぜられ出張所主任技手として後任は文川出張所主任技手岡部長太郎氏と決定せり▲水產支部員移動 元山水產支部にては從來森田技手勤務し居りしが同技手退職せしに依り後任として咸興岩吉支部員轉任したり

釜山

▲水野議員の臺灣行 釜山商業會議所議員水野巖氏は會議所の代表者として臺灣に開催さるべき臺灣始政二十年記念勸業共進會開會式に臨場し尙同地方面の政治經濟商業の狀況を視察の爲め來る十四日出發の筈なりと▲煙草店員大運動會 釜山煙草販賣組合四十店々員百二十名は來る九日東萊溫泉場にて慰安大運動會を開催すべし

光州

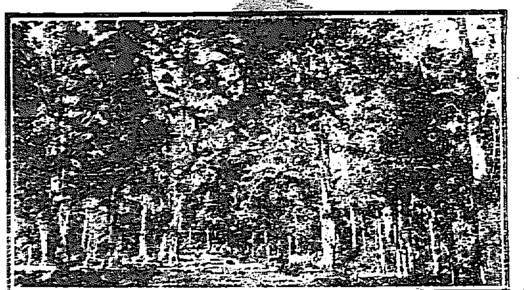
▲陸地棉種子配付 本道本年作付陸地棉種子は既に配付を開始せしが其總數量九十萬斤の豫定にて內七十五萬斤は各郡棉花會社より買取り十五萬斤は各採取圃の產出に成るものなりと▲支部長に記念品 當地愛國婦人會支部にては今回前支部長工藤長官夫人に對し記念品を贈呈すべく目下幹部に於て奔走中なりと▲松汀里衞生消防組合 松汀里は光州の咽喉に在りながら未だ衞生消防の機關備はらざりしが四日愈々兩組合の設立を見るに至り組合長として學校組合管理者山本鷲馬氏就任したり▲徵兵檢查執行 光州に於て本年度徵兵檢查を受くる壯丁は百廿五名にして何れも七八兩日午前七時より郡廳內光山舘にて執行の筈

人事消息

▲志田博士 大田下車滯在中
▲坂東勘五郎氏(鎭南浦代議士) 六日夕元山より入京巴城館へ
▲ケプトレル氏(京城駐在露國總領事) 七日朝內地に向け出發
▲田邊遞信書記官 入京中の處七日朝發長崎へ
▲齋藤音作氏(營林廠長) 戌程入京滯在
▲四田茂輔氏(專賣課技師) 八日出發大田、全州、光州に向ふ
▲宮家正義氏(開城出張所技師) 出張
▲小谷鐵吉氏(西警務山濱田勘役) は六日午後着七日入京
▲道岡秀太郎氏(釜山商業會議所會頭) 新羅丸にて下の關へ出張
▲國分子爵 六日午後七時二十分水原より歸京
▲尹致昊氏 同夜安より歸京
▲加藤代議士 七日午前八時南大門驛列車にて安東方面より入京巴城館へ
▲佐々木四方志氏(龍山鐵道病院長) 七日朝東上
▲改野端鐵理事 七日夜入京朝日町旅館に入る

土城より延安迄　大塊

馬車の旅人煙稀れに花もなし
紅塵萬丈晴貧弱な地味の瘠
歡迎も執拗は厭ふ春の風
延安や思ふに勝る春の夢


京都上加茂神社

同　下加茂神社

賀茂明神御參拜
御大典式場に成らせらる

京都皇宮に御駐輦中なる　皇后陛下には御豫定の如く七日午前九時卅分御出門御馬車には千種典侍御陪乘申し上げ德川皇后宮大夫以下女官は馬車にて供奉し參らせ御氣色

▲最と晴やかに　建禮門より寺町御門を出でまし玉ひ滿遊々と寺町通りを北に加茂川の出町橋を渡らせ玉ひ下賀茂なる御祖神社に行啓あらせらるゝ金色眩ゆきばかりなる皇后旗の春光に輝やく尊さよ　陛下には華表前に列を正せる愛國婦人會、赤十字社員其の他名譽職員等の奉迎を受けさせられ樓門外にて御下乘夫より御徒歩にて各供奉員を隨へさせられ御參進あらせらる、是より先き同神社にては

▲宮司以下神官　奉仕して莊嚴なる祭典を行ひ神饌を獻供して行啓を待ち受けたるが此時　陛下には御歩緩やかに階段を登らせられ御玉串を捧げ給ひて親しく御拜禮夫より舞殿、祝詞殿、東西御料屋、贄殿、炊殿等を御巡覽の後再び御馬車に召され元の出町橋を渡らせられ松並木正しき鞍馬街道より上賀茂なる別雷神社に行啓

▲大華表內にて　御下車それより御徒歩にて本殿に御參拜終つて昨年の御大典に際し建造されたる酒造殿其他を御巡覽遊ばされたる後御馬車に召され十一時過ぎ御還啓あらせ玉ふ、斯くて御晝餐を濟せられ午後一時少しもなれば御徒歩にて供奉員を隨へられ紫宸殿より賢所、御跡並に大嘗宮、御大典式場を御巡覽

▲御盛儀の程を　御偲び玉ひつゝ御遊覽あらせられたり尙ほ大森京都府知事よりは淸新なる蔬菜並に乙訓郡產の筍及び茄子を獻上したるが御嘉納あらせられたる由（大阪特電）

外交の妙味は—臨機應變に在り
世界大勢の推移—
志田法學博士談

六日朝の扶桑丸にて渡鮮したる帝國大學教授法學博士志田鉀太郎氏は車中にて語る

▲支那第一革命の勃發當時予は北京に在りて市街の燒打等の慘劇を面り見たが今回再び北京方面に行くことゝなつた流石の袁總統も今度といふ革命には聊か手古摺つて居るらしく、ドウかして大勢を取返さうと苦心して居る次第だらうが如何なるか知らん、南北妥協說も傳はつて居る南方獨立宣言の精神より見れば此際妥協などは夢にもあるべき筈もなきものと思はれる革命派といつても種々ある

▲硬派もあれば　比較的軟派もある從て與賀袁派の妥協に應じつゝある者も皆無と云ふ譯でもない樣で何分にも革命各派の外國借款の不如意に付込んで袁總統は往年の怪腕を揮うて例の買收政策を講じつゝあるやも計り難い今回の支那動亂に就ては歐洲戰亂の爲め露獨佛等の如きは何等交涉も無きに反して

▽英は袁氏を援けて其の經濟地盤を保持し更らに擴張せんものと大いに力を入れて居る是れ即ち利害の關係を主とするもので袁氏の勢力地に陷て革命軍が勝味になつた場合には英國と雖も固より躊躇せずして革軍を助くるであらうと思ふ彼の日淸戰爭の當時に見るも初めは寧ろ支那を援ける傾きがあつたが愈々勝敗の歸趨明白となるや英國は中途より

▲我國に好意を　寄せた如き例もある今日の支那問題につきても日英間の態度は推して知るべしである先頃より日英同盟問題につき種々なる論議をなすものもあるが元來同盟など云ふものは利益によつて生ずるもので信義又は好意とか云ふ事は表面のものである故に利害相反する場合には

▲同盟も協商も　あるべき筈ではない日英並に日露とは相互に支那問題に於ては利害が衝突して居る日英同盟と謂ひ日露協商と謂ふも畢竟目的は其利害の衝突を調和するに在るのである故に其趣旨を了解し大勢の推移に伴ひ其宜きに從ふと云ふ外交の妙味だらう現今の歐洲戰爭の結果如何は今斷じ難きも戰後の外交は必ず一大變化を來すであらうと因に同博士は鮮滿殖民地法制調査の爲め今回大田の知人方に一二泊の後京城より奉天に至り大連旅順を經て北京に赴き天津に出て更に靑島に行き其より直行歸東の筈である（釜山支局）

太陽が幾つも見えた
朝鮮では二三年目に現はれる

四月六日の午前九時三十二分から同十時二十分迄太陽に薄雲がかゝつて居たが觀測中に雲を透して見ると太陽を中心として周圍に虹の樣に七色の美しい輪が幾つも出來てそれが太陽の廻りに現はれ互に相接觸して又其接點の中心に太陽が一つ宛現れて居た怎ういふ譯で怎麼になるかといふと空の最上層に有る上層雲の氷層を太陽の光線が通過するから出來るのである則ち物理學上の透明體を通過する時には物體が屈折して見えるといふ理が有るつまり此現象がそれであるが內地では之を滅多に見られない唯朝鮮には二三年目位に短時間現はれるのみで之を天文學上では日暈と稱し天候の變化を豫知する好材料として天文學者が進んで研究して居るのである（仁川觀測所員談）

暴風被害
仁川港內にて艀船沈沒す

六日夕方より起りたる暴風は夜半に至るも弱まず果ては雨さへ加はりて

▲物凄じく吹き　荒びたるため本町一丁目埋立地に有る仁川內里井泉和所有に係る籾摺工場一棟倒壞（損害價格二百三十圓）其他廣告看板煙突、柵の吹き倒れたるもの多數あり尙ほ同夜午後九時仁川內港第二棧橋東側海上に於て仁川本町慶田利吉所有の艀船川內丸第十八號碇泊中風波の爲め船の水木破損して船尾より船內に約三尺餘入水し危く沈沒を免れたるも積荷の籾六百十叺の內

▲三百叺海水に　浸され此損害額積荷共百六十圓の見込なり次は七日午前五時半頃內港稅關構內東南角石垣前に碇泊中の仁川外里中村圓一郎所有の艀船第六海運丸（一十三噸）は同じく暴風雨の爲め同船の左舷は他の碇泊船と衝突し大破を蒙り投錨の儘遂に沈沒せり積荷は穀二百六十二叺（損害百十七圓）にして艀體は引揚げの見込あり其損害約二十圓內外なり（仁川支局）

砂が降る
朝鮮全道に

例年四五月頃になると蒙古の砂漠で旋風の爲めに砂が中空に吹き上げられ上層の氣流に乘じ

▲朝鮮を經由して遠く內地の方まで其砂が送らるゝが其經過する地方は其時に砂が降るのである所謂理學上では之を霾と稱して居る本年も去る二十八日頃から本月の二日頃迄朝鮮全體に砂が降つた

▲當時仁川で觀測した模樣によると最も激しい時には晴天にも拘はらず八尾島が丁度濃霧に鎖された樣で見えなかつた其後日を經るに從ひ薄らいで現狀に復したが強く降る日は

▲太陽が黃色に見える樣な事もある仁川市中にも當時砂が盛んに降つたから大變に騷いで居た板の間にも机の上にも一面に降つて居た（仁川觀測所員談）

直江津丸到著

過般木浦沖に於て坐礁せる直江津丸（八三二六噸）は應急修理を施し松田海事商會の救助船大島丸に助けられ六日午後二時無事門司に著したり（門司特電）

壽座愈々開演
七日は雨でも開演

有樂座女優團は六日夜南大門著壽座の出方、關係者の盛んな出迎へを受け一同華々しく壽座に乘込みたるが七日は雨天にも拘らず一同俥を連ねて町廻りを爲したるが初日の藝題は正劇「八重山吹」全五場女優總出の所作事「御國の光」喜劇「お染久松」にて午後五時開場五時半開幕の筈にて雨天にても初日を出すべく特等入場者には敷島八千代計二包一等武藏野朝日計二個二等敷島三等ダリヤッニルス計二包にして特等一圓より七十錢五十錢三十錢なりと

◉技藝學校入學式　私立京城女子技藝學校にては去る五日入學式を擧行したるが新入學生約九十餘名これに上級生徒及び生徒保護者を合せて列席者頗る多數に上りたり、尙は同校にては近來新入學生徒の增加せるより校舍狹隘を告ぐるに至りたるを以て他に新校舍を擇び移轉する計畫中にて新任の教員中には新たに東京女子大學出身の和田夫人並びに東京渡邊裁縫學校出身の小泉夫人を加へ今後益々朝鮮に於ける實科的女子教育に努力することゝなりしといふ又同校に新設せし中等夜學校は九日頃より入學試驗を了し愈々七日夜より始業、爾來科目を新設せり

タングステンの本場
忠清北道から—
掘り出される重石は一箇月廿噸下らない

朝鮮の重石鑛床は大體に於ては江原道から忠淸北道に入り京畿と慶北の一部を領して

◆忠淸南道　に亙つてゐるといふものと、朝鮮は各道共其土質が存在の要件を具備してゐるから將來は到る處で發見されるに違いないと云ふものとの二說がある、前者は既發見地から推定した議論だが後者は

◆重石礦の　賦存する地質に依つて立論したもので前者よりも慥かな根據がある、すると朝鮮內は將何處へ行つても重石の發見せられぬ所は無い譯だが之は未來の事として暫く措き

◆現に發見　し又た發見せられつゝある鮮內の狀況から考へると忠淸北道は如何してもタングステンに富むでゐることは豫想以上の事實で產地の廣汎なる有り樣は實地を見た人でなくては到底も想像の及ぶ處で無い、現に

◆舊鑛業令　に依つて國有地の採掘權を得てゐるものは三井物產高野支店長の名義でやつてゐる忠州郡仰城面と、宋秉畯子に許可された堤川郡堤川と、非して飯田氏の經營に係る淸州郡芙蓉面位のものだ、けれども

◆私有地で　以て勝手に掘つてゐるものを數へると七十箇所を下らず、殊に處定めず山又た山を放浪ふて素な露頭部を漁り歩く盜掘者の群に至つては其數幾百名なるかを知られ

◆斯ういふ　有樣だから產額なども未だ左かでないが、大約前記の國有地では仰城面が三噸、堤川が三噸、芙江から二噸半位のもので之れに私有地から出るものを加へるときは一箇月少くとも十八九噸以上と註せられ又た

◆一月以降　今日までに買收された盜掘の重石は十數噸に達するだらうとの事であるから、幾等內輪に見積つても忠淸北道內から掘り出される重石は一箇月二十噸を下ることはない、而かも之等の鑛山中

◆根本的に　稼行にしてゐるものは仰城面丈けだがこれとて目下採鑛時代だから實際の產額は將來に俟たねばならぬ、其他は何れも現はれた脈に就いて片つ端から掘り取つてゐるのだが到る處

◆大鑛石が　出たり水鉛が現れたりする狀況に徵すると餘程有望な脈に富むでゐるに相違無い現に掘り出してゐる山ですら尙かく多數に上り且つ夫れが却々有望であるが、一月以降に發見せられ

◆新鑛業令　に依つて目下出願中のものは純重石鑛而已でも實に二百數十件に達してゐる今日忠北內で最も名高い地方を擧げると忠州郡では仰城面から老隱面に跨り、堤川郡では水山面一帶

◆丹陽郡で　は鳳化面の山々、槐山郡では靑川面また淸州郡では芙蓉面一圓に亙つてゐる、之れを以て見ても忠北道內が如何に重石鑛に富むでゐるかと想像せらるゝが何ほ暫解と共に

◆今後奧地　の山々で發見せられるものは鮮からぬ事であらう、何にしても鮮內に斯樣な豐產地を持つことは慶賀に堪へぬ次第である

女將評判記
ばか町嚀—
辰中のお辰

辰中と言へば近頃賣出しの藝妓置屋其處の女將の通り名をお辰と言ふ、本年取つて四十四歲、寄る年波に逆ふ處なく押寄せた縮緬皺は、額に頰に一面に刻まれて、薄毛の頭にチョイと乘せた丸髷にも品があり、揩屋の女將とはチト受取り兼ねるが、それでもツイ去年までは花月に出てゐて若一、その、加代などの婆さん連中の

◆上にゐて地盤の新內抔（いゝ咽喉を聽かせ色氣を離れた藝の間にお辰お辰と可愛がられ）がられたものだつた、年のせいもあらうが、沈んでゐるのではあるまいかと思はれる程平素は落ついてゐるので、會つた人に揩屋の女將といふよりも手堅い老舖のお內儀さんといふ樣な感じを與へる、それ丈藝事が地味で人の好い人の世話と來たら、人が貧乏を質に置いて手形を入れる、入れから物を賴まれると善であれ、惡であれ、嫌と言ふ事が言へない、だから今でこそ新陳代謝して抱えの藝者は券番でも粒選り揃ひになつたが開業の當時は

◆あんなのばかり寄集めて（お辰の顏に臨はる惡告して遣らうではないかと言つた）た程、拙いのを集めたものだつた、又親切である代り物事に馬鹿町嚀であるのもお辰の長所であつて短所だ、例へば藝者をして居る時も自分の受持の藝者が三人なら三人の贔負の客があつたとすると其の三人に座敷に出てゐる作法心得などを言ひ聞かすのに、並べて置いて一同に言へば濟む所を三人の前で一人一人に冗なしく說き聞かせ、一々別りましたと言はせなければ承知しないといふ調子、然んなだからお辰に仕込まれた花月の藝者には彼の人格をそのまゝ受け入れたのが多く、何處となくおつとりしてゐる者がある

◆斯うしたお辰の性格は（芝居といふもいゝなかなか…してゐますお婿さん…）と自身がいふ割合に丸髷の芝居で二十四孝の濡衣を勸め、思ひがけない當りをとつた、お辰には智惠子さいふ美しい娘があて、白桃の蕾の樣な綺麗な又京人形に魂を入れた樣な舞妓だ、花月時代から大切にかけて育て上げた丈に、すら／＼と伸びて今では兩券を通じ誰より人氣のある雛妓になつた、お辰のむつつりした顏に比べると智惠子は誰の生んだ腹にも優つてゐる、隨つて智惠子を大切にする事も非常なもので、世間の素人家の箱入娘よりも尙ほ一層秘藏してゐる、お辰にとつては智惠子は何よりの身上であるとも言へる

新鑛業令により四月一日から始まつたタングステン鑛山の出願は三日の夜までに總計五百五十件ばかり▲山積した出願書類は昨今鑛務課で著々整理中近々實地を調査した上で許可になる豫定である▲出願者の色別けは殆んどあらゆる職業の人を網羅し朝鮮の貴族あり本町あたりの各實業家あり代議士あり操觚者ありこれ等の人々が何れも同一の鑛山を競爭して居るから盛んなものであると▲昨日今日の誘ふ春雨に綻ろびそめたか朝鮮の陽春を彩どり連翹の花が咲いた黃い可愛らしい莘夷花のほゝゑみ春はいよ／＼これからである▲立花中將から東京帝國博物館動物園に送つた朝鮮名物のヌクテ先生、二日下關に上陸して停車場は人山を築いた相な▲此ヌクテは百二十名の鮮人に嚙みついた履歷付のものといふので內地では大評判

◉五人で袋叩き　釜山牧の島……逃走したる最年少者の藤田俊雄な……合ひを打初めしが多勢に無勢で桑田は養父鄭銘錫の實弟なる同地玉泉洞……はこれに應ぜざるより然らば汝の家……

漁業李學奉其他四名は去る二日午後……

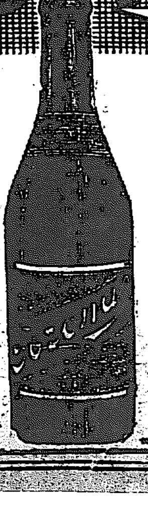
一等（一名）志田鉀太郎　二等（四十七名）三木おく、楠垣まさ子、同耕子　三等（なし）

六日午後入港壹岐丸　二等客

曇り後晴れ　▲四月八日　七日午後六時發表

日出　六時　日入　七時二十一分

Corona
御大典記念飲料
コローナ

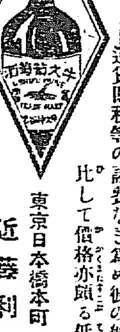


宮內省御用達
三ツ矢平野水サイダー發賣元
帝國鑛泉株式會社

內科　小兒科
皮膚病花柳病　入院隨意
京城日出小學校前
院主　醫學得業士　多々見五郎
多々見醫院　電話九四〇番

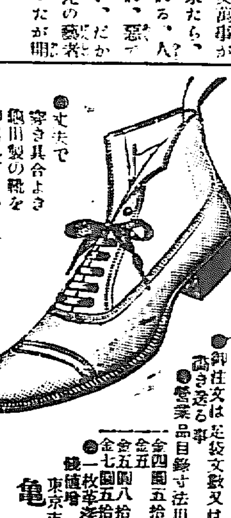
大禮使長官御許可　謹寫團　拜撮
大隈總理大臣官邸に於て　檢閱濟
聖上陛下の御尊影を數回拜し奉る
尊とも貴き　御大典畫簿　並に　宮中御盛儀
大禮觀兵式、大觀艦式、御親閱
御還幸、東京奉祝會、御式場
當る九日まで　於　有樂館
晝夜二回開會
またと拜す事の出來ぬ記念大寫眞
學生諸君及各種團體には會費低減す

國產　牛久　赤白　葡萄酒　は



茨城縣牛久神谷葡萄園に移植したる佛國種の優良なる葡萄實より搾取したる儘の精良品にして畏くも宮內省の御用命を蒙つゝある本酒は本邦生葡萄酒中最も藥用的成分に富み食卓上缺く可からざる衛生飲料なり
而も——運賃關稅等の諸費なき爲め彼の舶來品に比して價格亦頗る低廉なり
東京日本橋本町　近藤利兵衞

これだから非常の評判
殊に貴紳間に愛賞せらるゝ
●丈夫で穿き具合よき龜田製の靴を御召し下さい



●御注文は足袋文數又は紙に足の形を畫き送る事
●營業品目錄寸法用紙御申越次第發送
一金四圓五拾錢　編上靴
一金五圓　深ゴム靴
一金五圓八拾錢　上製
一金七圓五拾錢　變形
●一枚革深ゴム靴は金五拾錢値增
東京市芝區愛宕下町
龜田靴店
電話芝二二〇七　振替東京四三二二

東大門外へ
——奉安式參列の記——

總督官邸を三臺の馬車が出たのは八時半であつた、空は深く曇つて強い嵐のやうな朝風が街路を吹き通す、寒い埃りは高く颺る、小雨に似た粉雪がチラ／＼降る、幌馬車の上は可なり寒かつた。永樂町より黄金町の大通り、それから初音町の電車交叉點を左に折れ、馬車は鐵路に沿つて東大門内の大街路に走り出た、それは四月の三日神武天皇祭典の當日、東大門外の清涼里農場神宮の御遙拜式に參列する一行であつた、先頭は御靈代を捧持せる宇佐美長官の馬車、第二に續くは關屋局長等の馬車、之を承はつたのが澤田弓削の兩氏及び記者の便乘した馬車である 縮のやうな古絶壁を左に見る東大門の横を過る時

『京城住ゐも永いが東大門を拔けるのは初めてだ』澤田さんが云つた『以て其の怠惰を知るべしだね、アハヽ』弓削さんは大きく笑つて『僕なぞは其の數を知らぬよ』『君は學務の關係乃ち職務上でだらう？』澤田さんが吐き出す『ナーニ散歩や狩獵やでさ』

左手の高地に赤い洋館が幾棟も建つてゐた、門外に出ると市街の模様も頓に一變する、瓦葺の家は藁屋根となり人通りも著しく減る、松葉を負ふた大きい牛や肥桶を積んだ車などが特に目に入る、鮮人の白衣も汚れてゐる道路に高低がある、然し君等の馬車を曳いた二頭の駿馬は傍目も振らず一直線に走る フト左方に慘憺たる燒跡が見えた

それは臭氣を京城の天地に放散するので有名な肥料會社が此の程執拗な騷擾子のお見舞ひを受けた記念である、赤く焦げたトタンが黒い現場を飾らしてゐる。

家並をぬけると楊柳の並木が薄く續いてゐる、静かな小松林が左に斷續し、右手に京元線の鐵路と遠色の傍現場を見る、水の涸れた底の高い川がある、眠さうな音を立てゝ一臺の電車が橋の上を通つた。

昔は此んな所だけれど風は絶々其の強さを加へた、宗里の間から春の日がチラ／＼と差す、深い松林の間に閃く墓を遠望すると、弓削さんが指して澤田さんに敎へる。

『さうかい』初旅の澤田さんは珍らしさうに目をパチつかせる。

路は約十間の幅で坦々砥のやうだ此の模範道路にゴム輪の馬車を驅る快は……若し快闊の春日であつたなら……少なからぬものだらう、惜しむべし寒冷と疾風とが記者の前日から期待せる輕騎快心を少なからず傷つけた」記者は車上そんな事を考へてゐた

『よい道だ、實に立派な道路だ、内地にも此の様のは少ないぜ』

『ウン、春川に通じ京畿道にもなつてゐるんだね』

から弓削さんと澤田さんが平凡な話しをしてゐると、路傍に立留つた一人の青年が澤田さんに低く腰を折つた、そして其の青年は韋駄天の如く君等の馬車を追つて來る、馬車と其の青年の距離は漸次離れたが青年は傍目も振らず走つてゐる

『訓導だがね、農場に行く道が分らぬから馬車に續くのだらう、若いから元氣さ』澤田さんが話す

右手に綠りの松林が見ゆる、陵が見ゆる、楊柳の並木も絶えず連らなつてゐる、馬車は春川街道を左りに切れた、東方に聳へた高い山の頂だきに寺らしい家が建つてゐる、低い小さい農家が二三軒苑路傍に並んで麥畑の苗は青かつた、路は大分惡くなる、トある川の土橋が壞れかけてゐたので一同は馬車を下り、馬車は水中をザブ／＼と渡つた。其の川の先きから赤道を左に切れる、漸く車の轍を入るゝに過ぎぬ狹い道であつた。

『松が見ゆるだらう、そして松の間に家があるね、あそこが農場だよ』と弓削さんが説明する、成程老松の立並んだ間にトタン屋根の建物がかく近く目に入つた（西海生）

春の雨

●妙技神に入る

スミス氏は六日東京に於て豫備飛行を試みたるが其の飛行振の鮮やかにして巧妙なる技神に入りたるものあり觀衆爲めに香を捲き喝采歡呼の聲盛なりし（東京電報）

●御大典寫眞盛況

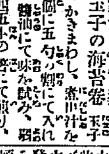
有樂館に於いて映寫中の國民拜觀會謹寫の御大典活動寫眞は豫定の三日間にては來觀者を收容し得ざりしを以て九日まで日延べする事となり學校當局者も生徒の觀覽を許し七日迄間は商業學校中學校八日は日の出學校外各小學校の團體觀覽あり尙は青年會及び在郷軍人會の章票若くは會員章持參の向に限り各等共三割引の由

●明治大學校友會

明治大學校友會朝鮮中央支部にては佐々木慶尙南道長官の來京、岩本京城地方法院長の來任川田商業興信所主任の轉任等に付右三氏を主賓とせる送迎會を兼ね六日午後六時より京城ホテルに於て春季大會を開催せり出席者小宮次官、渡邊高等法院長、柿原典獄、永谷發視を始め約五十名、席定まり開宴中高橋幹事の挨拶に次ぎ主賓たる三氏は謝詞を述べ各自歡を盡し散會したるは午後十時なりき

●大音樂會開催

京城及び中央の內鮮兩基督教青年會にては來る十四、十五の兩日鍾路なる同中央青年會館に於て合同大音樂會を開會する由にて內外人多數の出演者あるべしと



▲煎玉子の海苔卷 玉子を好くかきまわし、煮出汁を玉子五個に五勺の割にて入れ砂糖鹽醬油にて味み試み、弱火にて四五本の箸にて煎り、鍋鐵の上にひろげ玉子を平に置き、心に卸山葵少々を入れ好く冷してから淺草海苔を火にて焙り、竪に入れよく卷き適宜に切る。

商況

東京株式特電

	七日前場寄付	大引
日本郵船	一九一、二〇	一九一、〇〇
日清汽船	一五九、三〇	一五九、一〇
鐘淵紡績	二二九、七〇	二二九、七〇
同新	……	……
日本麥酒	二四二、二〇	二四二、二〇
東株第一	二三八、一〇	二三八、四〇
東株第二	二三一、〇〇	二三〇、〇〇
東新第一	二二二、〇〇	二二二、九〇
東新第二	二〇九、九〇	二〇一、〇〇

債券現物特電（前日との比較）

	七日前場	
東洋拓殖	……	……
京城電氣	……	……
朝鮮銀行	一三五、〇〇	……
朝鮮瓦電	……	……
南滿鐵道	……	……

東京公債直取引特電（前日との比較）

	七日前場	
九分利	……	……
五分利	……	……
甲號五分	九四、九〇	……

深川在米特電

	七日前場
朝鮮米	一二、八〇
內地米	一一、〇〇

東京期米特電

	七日前場
當限	一二、八六〇
中限	一二、〇四三
先限	一二、七二一

大阪期米特電

	七日前場
當限	一四、一〇三
中限	一四、〇〇三
先限	一四、〇六三

下關期米特電

七日前場（最不順季節の各地高に活躍す）

	寄付	
當限	一三、八〇	……
中限	一四、〇九	……
先限	一四、四九	……

朝鮮物産特電

釜山改良	三、一〇	釜山大豆
馬山改良	三、〇〇	慶山大豆
木浦改良	三、〇〇	群山米
群山改良	三、一〇	元山大豆
仁川改良	二、〇〇	城津大豆
釜山上白	二、〇〇	龍山大豆
釜山中白	二、〇〇	長城大豆
仁川上白	二、〇〇	仁川小豆
仁川中白	……	平壤大豆
仁川並白	……	木浦大豆

雜報

●洋紙類ご眼先

（一度頂点を打ち昨今）狂騰を續けたる洋紙類も一度頂点を打ちて以來引續き不味の商狀を呈し居れるものゝ如く製造者側も今後原料騰貴を唱へつゝあるも紙價は反動の懸念に市場の人氣は動もすれば下落に傾かんとする形勢なるが製造元側に於ても今後五日協議会を開催せざる可らざるの意味ある事に決し此の條件は多少價格を左右するものあるべし

大物は價格の釣上過ぎ なりし多少の引下げ

事となるべしと從つて此の結果如何によりては當地の紙價も多少の變動あるべし

●期米暴騰す

新聞發表以來一般發展の機樣なく連日の持合は更に一轉して何等の變化なく六日の前場仁川期米も大阪の高値に刺激せられ上鞘となり後場は更に騰貴して十四圓に近く前場に比し約二十錢の高値を示すに至れり今回の大阪暴騰の原因は種々あるべきも不穩なる期米が動機となり漸く暴騰に近き事態を生じたる如く今や正米の供給も潤澤ならず此の勢は多少の疑問の餘地ありといふべし

京城正米

△同	十一圓六十七錢
△慶山大豆	九圓五十九錢
△同	九圓六十錢
△端川赤大豆	十圓二十錢
△元山大豆並上	九圓八十錢
△仮館大豆	九圓六十錢
△深川大豆	九圓七十錢

△朝鮮一等白米（當用）十三圓九十錢

京城雜穀

過般來貨物の漸減地廻り及び沿線共に買附困難の傾きありて徐々底固めを見せし因先昨今の期米昂騰によりて人氣一變し

更に一變

朝は賣人のみ多く買人の意氣甚だ强く

約二十錢方相場

引締めたり賣人の唱へて十圓五十錢見當なりき

南大門の廻穀

適般來河筋物の入荷を勝へし閑先昨夜來の降雨あり且つ漢江の增水と共に品共に更に入荷は見るべしとて安氣配なり

天安玄米	五六叺	平澤粟 二〇叺
平澤玄米	二六叺	平澤黍 一一叺
平澤白米	八九叺	氷原白米 二三叺
長湍黄粉	四一叺	一山白米 一一叺
沃川畜粉	五九叺	長湍小豆 一一叺
水原白米	七一叺	金村籾 三四叺
全谷小豆	二三叺	全谷籾 二八五叺

仁川現物市場

△籾入津なし
△正米入津なし 氣配期正米高に連れ高調樣
△大豆入津なし 氣配期米高を受けたると精白米の注文多く原料買入に汲々たる場合人氣は締堅を唱へ居れり
△大豆入津なし 氣配依然人氣

釜山穀物市場

△米（軟調） 賣り物は相纏あれども本邦期米小往來の事とて買人の精米日は附値しも去れども賣人は移出口に買氣み人なき折柄精米口の附値に應ずる商狀にて成行き賣り物狀なれば產地筋の傾向にて頭重き品によりては五八錢安なれども眼先き稍保合の商狀なり
△大豆 依然軟にして差したる騷動もなく保合の狀態なり賣り物は引續き稀薄なり
總出來高二千四百八十八個

本火同精に決す

清酒は既報の如く古酒將來の結果本火賣出しの期も例年に比し約一ヶ月も早め此處兆々合酒さして入荷せるものあり來る二十日前後には一般本火の賣出しを見るに至るべし本年は前報の通り內地清酒界の變動に連れ例年の如く本火の値下げを爲し難き事情にあり同業組合に於ても協議の上既に

本火に古酒ご同値

に決せりといふ

●精米値上げ

原料米高は地方の値に連れ七日より精米は

二十錢の値

上げを爲せり建値は一等米十三圓となる譯なり

●白米小賣値上げ

精米地卸賣値上げの結果小賣にも一升に付八日より

五厘の値上

を爲す同日より一等米十四錢二等米十三錢五厘又は一等米十五錢と定むべしといふ

下關相場

▲朝鮮白米も奮はず 依然產地の人氣安からずして不引合を唱へ各米主は手放し難しと居れども何分內地期米の不勢にてまざる爲め收まらずに此に就中市況引立たず其後の輸入は百九十叺のみ
▲小豆は格別變らず之が買入れ依然氣迷ひの中に市況は白からず

市場零聞

▲前場爆發す

大阪の不勢を受けて一向正米の強氣なるによりて前場は十一圓臺に沸騰しなりしも高値を示し居るや強氣筋の見込買入れ利喰賣を

▲大阪の續暴騰

前場の續暴騰に連れ新規買の大阪は本日も大阪前場二十錢を始め大に沸騰し二十錢以上の大暴騰をなしたるは全く豫想外の事にて

▲遂に大暴騰

演ぜしは賣方一部の思惑に過ぎざるも買方大に乘じ

▲中限新規買

形勢一變し買物集中し來たらん形勢にあり新規買物此の種の買物は如何にも中限は此上の買方に向ふべきか

▲前場大混戰

大阪の暴騰を聞くや人氣沸騰し前場大混戰を演出したり中にも目立ちたる商內は

仁川期米

▲七日前場

人氣更に沸騰し前日比十錢以上高く後場又一圓二十錢高の入電二十一錢に高移し

十二錢高の入電

節五十五錢と高移

十四錢の暴騰し新規買物入氣沸騰

大混戰裡に

	前場	後場
當限	十三圓九十五錢	十四圓二十錢
中限	十四圓四十五錢	十四圓五十錢
先限	十四圓四十錢	十四圓六十錢

仁川米豆取引所

七日の六月限

前場	寄	十一圓二十二錢
	二節	十一圓二十一錢
	三節	十一圓二十四錢
	四節	十一圓十一錢
	五節	十一圓二十五錢
平均値段		十一圓二十錢

賣買取組高

四月限	三百石	四千四百石
五月限	四萬三千五百石	
六月限	一萬八千五百石	

六日後場	來	値	比較
	一〇〇〇	一〇	高

北濱たより

株界の昨今は元來が花見相場と稱して閑寂なる上に相場も上へ下へも動きのないのが例であるに今年の花見相場も亦た此の例に洩れず

南滿新株

某消息通の語る所によれば

▲遂に上岐れず

前場は前日比九千餘石の賣玉あり

生魚市場

玄米	一千三百四十二個
大豆	百三十六個
大麥	一〇個

著荷漸次少數に上りたるが生魚相場は左の如し
タイ四〇、チヌタイ一八、サワラ三六、ヒラメ一三、カレイ七、アナゴ一一、サバ二三、モエビ一八、メバル八、サヨリ一七、タコ八、ボラ八、アアビ一〇

新規大買物顯

▲原因は

前報の如く形勢の變化なく強硬なりしより

中限に割安思ひ

◎火鉢を投げて懲役

慶北安東郡道門洞居住鄭浩龜（三〇）は入家せしむるは家名を穢すものなりとの理由にて火鉢を投げ付けて負傷せしめたる者なり

◎慶北新羅號

演藝案内

浪花館

明治町 電話二六〇番 山本松子一行 ▲新橋（長講）▲前座員數名出演 ▲發展傳（長講）山本松子 ▲發士傳、神田鬼治 ▲發民傳、烈婦傳 燕左衞門

大正館

櫻井町 電話八七三 ●四月八日午後六時開演 全三幕七十八巻 ◎新派悲劇 高山彦九郎 ◎大活劇大地震

壽座

本町 電話五七八 東京有樂座女優團初日藝題 二番目 上顛禮 阿波の鳴戸 五場 新派 關子島 三場 下 忍ぶ戀の曲者 喜劇 マグネット

黄金館

黄金町四丁目 電話二六三七 ◎新派 活劇 秦西正活劇義人の血涙 五千呎 ◎泰西大活劇 鬼の如き母の仇浪

壽館

電話一〇五〇町

御待兼ねの大寫眞來る

大阪毎日新聞連載小説 大正名著柳川春葉先生大傑作
公前の家庭劇「うき世」全四巻
關西琵琶界の名手村上桂秋彈奏
娘持つ親は必ず見よ見も
弟も姉も妹も來つて此浮世の痛しき旋轉を見よ

特別大興行 大正館

保全長壽 蘇生藥王酒
特効 ▲產後、衰弱 ▲肺患、下痢 ▲其他
朝鮮大取次所 京城公平堂百四十一番
宮商店
京城 明治町一丁目 電話一四四八
市內取次所 不二屋

日 マルニチ仲買店
仁川海岸町三丁目一番地
仁川米豆取引所仲買人
電話 長二八二番 長二八三番
主任 白川小吉

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥賣藥 醫療及試驗器械 卸問屋
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前
山岸天佑堂 藥品部 器械部
電話 一二二、〇二七、六〇二

婦人科 產科
入院分娩應需
京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂
中央婦人病院
（電話二三四〇番）

疊値上げ廣告
疊表藺草原料騰貴及絣緣地騰貴に付四月一日より當分の間略一割値上げ可致候間各御得意樣御承諾願上候
大正五年四月一日
京龍疊商同業組合事務所

時代の要求により創製の營養劑（實家應用諸症）
最新鐵劑 フェロール
譯名 滋精 應用 體育保全 補血營養
梅毒症新應用劑 沃度フェロール
皮膚病新應用劑 アルゼンフェロール
氣管支症新應用劑 グヤコールフェロール
フェロール及フェロール合劑品目
フェロール 大（半月分）一圓五十錢 小（七日分）八十錢
沃度 アルゼン グヤコール 各 大（半月分）一圓八十錢 小（七日分）
創業元 大阪東區道修町 藥劑師 小西久兵衞
（賣藥なき地方は本舗へ注文あれ）
代理店 京城南大門通 新井藥房 京城太平通 キムラ藥舖 釜山辨天町 大黑藥舖 木下藥舖 元山港 石田濟生堂 安東縣市場 井上藥舖

宮本武藏

第一回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

寛永十年三月十五日豊前小倉と長門の下關の間、巌島と名付たる小島に於て九州の鬼神と稱へられたる無敵流の達人佐々木巌流齋岸柳を討取りたる宮本武藏正名の事蹟を講演いたします、此武藏は豊前國企救郡小倉の城主十五萬石小笠原右近將監忠眞侯に仕へて家老職を勤め、知行三千石を頂戴する宮本伊織といふ人の長男、幼名を七之介後武藏と改め諱名を正名といふ。

よく無三四と書いた書物があるが一あれは徳川時代で武藏といふ國名を書くことが出來ないから無三四と書いたので、當字だから今では通用しない、全くは武藏であります、何故岸柳を討取たかといふと武藏のためには岸柳は師の仇敵である、徳川二代三代の間に懸て大諸侯の家が多く潰れた、第一が福島左衛門大夫正則、次に加藤肥後守忠廣、連枝に駿河大納言忠長、上總介忠輝、本多上野介或ひは生駒讃岐守を初めとして其他の大小名改易斷絶となつたのは數知れぬ位、家中の面々離散して何れも果と名ある者は他家へ召抱へられて知行に有付く事も出來るが、左までの功名のない人間は口が見付かるまで據なく道場でも出して生活をするより仕方がない、そこで江戸市中に町道場が澤山出來た、中には三百石五百石の小祿に腰を屈するを屑しとせず、好んで浪人生活をして居る人物もある、之は町道場を開いて町人や何かには決して教へない大諸侯の許へ出入をして家中の面々に教授をする、何分其頃は關ケ原の戰ひが濟み、大阪の戰ひが濟んだ許りで未だ殺伐の氣風が殘つて居るから動もすると血腥ぐさい風が吹くといふ世の中、職人なんぞが武藝の稽古をするから何處の町道場も朝から晩までポンポン音のしない所はない、當時江戸表で劍術の名人といへば柳生但馬守、小野次郎左衛門、何れも將軍家御指南番、此二人を除いては小石川白山御殿下に於て道場を開き數多の門人を取立て、居る石川軍刀齋といふ人物、前名を石川紋彌勝秋といつて戸田流の劍法を究め元和三勇士の一人として有名な豪傑であります、此軍刀齋といふ人は決して町人や職人に劍術は教へない、弟子にして呉れといつて頼みに行くと意見をする、町人や職人が劍術を覺えて何にする、生兵法は大疵の基少し腕前が出來ると無暗に腕立を好んで其がために遂に己れの身を失ふやうになる、町人は算筆を覺え職人は己れの職業に身を入れて親へ孝行、妻子に安心をさせれば其で宜い決して武藝などを覺えようといふ不埒な了簡を起しなさるなといつてガミ／＼叱言をいつて逐歸して終ふ、諸侯の招きといへども氣に入らなければ往かない大見識の先生、水戸中納言頼房公石川軍刀齋の人物と技倆を御稱美になつて御扶持を下さる、其時分の習ひとして家來にする譯ではないが扶持を以て指南番に召出される事がある、されば石川先生月六齋に小石川御館へ上つて頼房公を初め家中の重立た人々へ劍法の教授をする、實に一時飛鳥も落す位の勢ひ、妻女は先年歿したが夫婦の間に女子が一人、男子が一人もない、息女は名を八重といつて今年二十才になり緣あつて小笠原右近將監の家中宮本武藏正名の許へ嫁しました、されば武藏のために軍刀齋は舅に相當る、武藏は諸流の劍法を究める人ゆゑ石川軍刀齋先生に就いて戸田流の劍術を學び間もなく極意皆傳となる、武藏は生涯師として仕へた人はないが十倍餘名の人々に就いて研究された人でありますから、後年に至つて日本隨一武藝の棟梁と稱され神免二刀流の開祖となる位の人物、若年から見所があるから石川先生が女婿といたしました、然るに其頃肥後國飽多郡熊本城下京町といふ所に三千餘人の門人を取立て居る佐々木劍道齋岸柳といふ者がある、仔細あつて佐々木岸柳が石川巌流に對して意恨を含むといふ當時談の發端。

お聞きなさい

▲静岡の底なし井戸　静岡縣二俣町字布良には昔から底無し井戸といふがあり今日まで一度も減水したことがないので二十一日警察署長消防組頭等立會ひ十馬力のガソリン喞筒で揚水した處二十分間に百石の水を揚ても井戸は一寸も減水しなかつたと

四月九日九星

舊三月七日　丙子　本命七赤　西　戌　先負

▲七赤　邪込主義の事有り注意新事見合　南方は吉暗節れ　▲八白　萬利満々たる日　轉居開業入學名弘婚禮金融藝事皆吉　▲九紫　平運の日　物の下賤な盡は吉新事手控商事　農藝は妨なし　▲一白　貸殺の日　轉居旅行入學名弘新調求職　婚禮金融譽子女を定る等萬吉　▲二黒　發効の日　轉居行商入門名弘命作求　祝嫁婿入籠　山製師普吉物に勝の日　▲三碧　怪氣なる喘有日　新事手控　移出は吉甘き相談に乘る勿れ　▲四緑　平潮の日なれども新事控目の方吉　術事に勤妨なし　▲五黄　手際よき日　轉居開業入門　名弘求職　命作　婚禮　大なる金融等皆吉　▲六白　同志を得る日　轉居入學金談求職出張　婚禮造酒系織を始むる等萬吉

泌尿器病専門
入院随意（診療夜九時迄）
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痔疾　皮膚病
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院　電話一九一四番

月やく
月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい遠からず速に御知らせ致ます
東京神田錦町三ノ一九　境川けい子

りん病
消渇で困る方　多年の慢性も
自宅にて人知れず安全秘密に治癒する良藥あり只一瓶を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町　武藤龜吉

クスリはホシ
リウマチス神經痛打身切傷凍傷痔等に著效あり
鎮痛　止痒
ホシチオール
定價廿錢、五十錢、一圓

小の便病
小便に渋度となく行きたくなる病
小便した後こゝろ持ちあしき病
膀胱カタル尿道カタルしよかち病
小便ニゴリ又ハ血や血出る病
右病者は往復ハガキにて照會に最良藥を詳報す
播州明石加古川東　藤原悦

宮内省御買上◎各宮家御用
ミルド
二條公　土方伯　大原伯　御使用
小久保・戸田　両醫學博士證明
付る程色白くなる不思議の美顔料
東京の貴族は必ずミルドを愛用せらる
化粧液
東京ミルド商會

製材機械原動機
其他一切付丸鋸共
賃貸又は製安賣却
鑛山機械専門製作
南大門通五丁目電話一〇四番
中根商會

目ぐすり中の目ぐすり
登録商標　岸田　目藥
精錡水

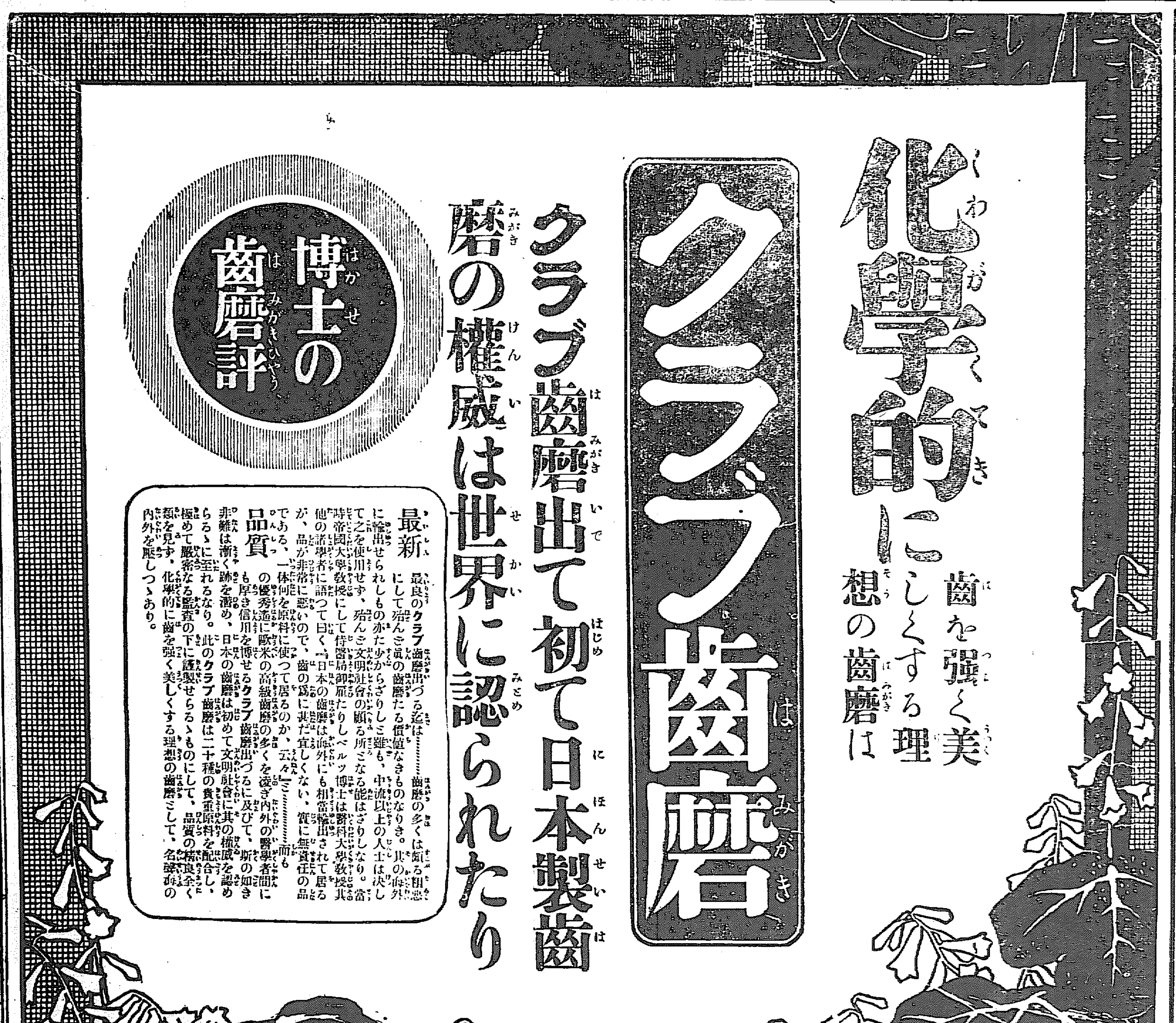
數ある中をM印は特に擇ばれて長き邊に御買上の光榮を得たる最優良品御記憶を願ます
M印ゴムマリ
賣行盛に　倍々發展
三田土ゴム製造合名會社製造
發賣元大阪唐物町四　飯田商店

化學的にクラブ歯磨
歯を強く美しくする理想の歯磨は
クラブ歯磨出て初て日本製歯磨の權威は世界に認られたり

博士の歯磨評

最新　最良のクラブ歯磨出づる迄は……歯磨の多くは頗る粗悪にして殆んど眞の歯磨たる價値なきものなりき。其の海外に輸出せられしもの亦た少からざりしと雖も、中流以上の人士は決して之を使用せず、殆んど文明社會の顧る所となる能はざりしなり。當時帝國大學教授にして侍醫局御雇たりしベルツ博士は醫科大學教授其他の諸學者に語つて曰く「日本の歯磨は海外にも相當輸出されて居るが、品が非常に惡いので、歯の爲に甚だ宜しくない、實に無責任の品である、一體何を原料に使つて居るのか」云々と……而も

品質　の優秀なるに歐米の高級歯磨の多くを凌ぎ内外の醫學者間にも厚き信用を博せるクラブ歯磨出づるに及びて、斯の如き非難は漸く跡を潛め、日本の歯磨は初めて文明社會に其の權威を認めらるゝに至れるなり。此のクラブ歯磨は二十種の貴重原料を配合し、極めて嚴密なる監査の下に謹製せらるゝものにして、品質の精良全く類を見ず、化學的に歯を強く美しくする理想の歯磨として、名聲嘖々内外を壓しつゝあり。



消化と毒けし
仁丹
春の外出よ
仁丹
金言　温雅なる談話は快感を與ふ（英國俚諺）

警務部許可
ツ人參精
開城人參エキスの精力增進、神經、營養等に顯著なるは服用せられたる幾多の愛用家諸君に御聞きください
特効　若衰、肺結核、神經衰弱、病、健麻質斯、腦病、腸病、痔疾、胃腸病、瘡毒不良

朝鮮土産
白尾粉　人參精　參末　人參精
人參砂糖漬　人參茶　人參入用　人參コーヒー　人參エキス　人參羊羹　人參水　風呂人參　朝鮮御土産一切
定價　六瓦入金三十五錢　十二瓦入金六十五錢　二十四瓦入金壹圓四十錢
製造元　京城本町二丁目　津村兄弟商會　電話一四八〇番

汽車
[illegible]

京城日報　第三版　(明治三十九年九月 第三種郵便物認可)
八日朝刊 (夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 郵送料共 [illegible]
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲三號活字同 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

大阪三品 ─ 一二〇、五〇 ─ 一二〇、九〇 ─ 七月限 (各地)

下關期米特電
▲後場中限戰 十四圓九十八錢より七錢を下げて一割 [illegible]

[illegible]

銀行政策

京城日報

銀行を單純なる金融業として之を觀、且銀行業者自身の安全策を主として之を云ふときは、其規模は大なるを要し、其業は專らなるを要し、專ら務めて大都市に其本據を据ゑて、事業と相干渉すること無くして、其利益を收むるを期す、英吉利の銀行が世間の模範と稱さるゝは則ち此點にあり。

併しながら經濟界の全局より之を觀て、一般産業の發達を圖るといふ見地より云はゞ、此業態は未だ以て能く其行用を全くせりと爲す能はざるものなり。蓋し一般産業の發達を圖るの要は、銀行業と農商工業と、密接の關係を相結びて、互に其功を全くするにあり。就中新興國新領土等、其地方の物質的進歩を求むるに急なる處にありては、其金融機關は其地方と密接の關係を結び、其私人私法人の事業と緻密和濟ふの妙用を盡さゞるべからず。

明治初年我帝國本土の銀行が、專ら米國の國立銀行組織に其規模を學び、各地方に分配するところの小銀行に兌換券發行權を附與したるが如きは、銀行制度としては、不規律且危險なるの非難を免かれずと雖も、産業開發政策としては、極めて其要を得たるものにして、能く其時宜に適せるものたるを失はず。獨逸墺洪國等の銀行が、今猶地方的關係を保ち、且産業と直接の關係を保つの實あるは、銀行業としては非難を免れざる點ありと雖も、其地方的産業の發達、小工業農業鑛山業等の進歩を助くるの功業甚だ稱すべきものあり。

英國一流の銀行制は、銀行其ものゝ發達は甚だ健全なるに相違なく、又其産業も大規模大經營なるもの、能く獨立自由の發達を成し遂ぐるやなしと雖も、農業小工業及び地方的産業は、此の經濟組織の下に於ては其發達甚だ困難なるの實あり。此度の大戰役にて、英國と獨逸との通商斷絶し、他國よりの輸入亦自由ならざるや、忽ちにして其經濟上の不便不利の、甚だ重大なるものあるを實驗し、英國財政家の心甚だ動けるものあり。此に初めて其自由貿易主義世界經濟主義の非を悟るものを出すに至る。去一月中商務院長ランシマン氏が、衆議院に臨みて、英國民の經濟亦自給自足主義を取らざるべからざるを説き、英國銀行家の事業に關渉せざるを誇るを咎め、金融機關は大規模大計畫なるを何ぞ各地方に渉り、各産業を助成するに向ふべきまでを切言せるが如きは、英國財政家の心理の、一大轉變を示すものと謂ふべく、最近奢侈品輸入禁遏令を發して、奢侈禁制の名の下に内地製造工業を保護するの方針を取るに至れる事實と相照らすときは、其趣旨の存する所推して知るべく、今日今後就中平和回復後に於て世界諸國を擧げて、産業開發主義經濟的自給自足政策に傾倒すべきことを想像し難からずして、此種主義政策の變遷は則ち我朝鮮の財政經濟を擔當する者の好參考たらざるべからず。

ヴ要塞戰現況

●地歩を占めつゝある獨軍●全戰有利多き佛軍の位置●

ヴェルダン戰は兩軍の公報區々なるが故に、的確なる眞相を知るを得ざるも、諸報を綜合するに目下の獨軍攻撃方面は兩方アルゴンヌ森林地帶のヴォクールよりマランクール、ベタンクール、キユーミエールの死人山高地を經てミユーズ河を渡れる約十五吉米突間に約十四師團、ミユーズ河東岸シヤムブヌヴイルよりルーモン、ドーモン、ヴォー、ダンルーブ、エーを經てムレンヴイルに及べる約二十五吉米突間に約十六師團を使用して大中口徑

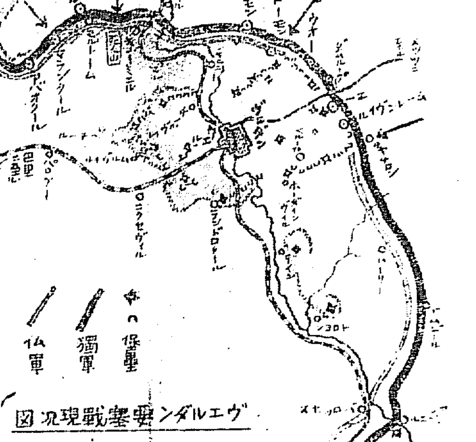
△約四千餘門 の各種大砲を以てヴェルダン攻撃に全力を集注しつゝ至大の損害を出しつゝも其の地歩を占めつゝあるもの如し之、要塞攻撃以前に比するに

△兩軍對峙線 たりしアルゴンヌ地方のヴアレンヌ東南方、マランクール、西北方、フォージユ森林の北方を經てミユーズ河を越て東岸地區のブラバン北方ボーモン東北方エタン西方を經て其の南方約十五吉米突なるシヤンプロンに及べる約

△五十基米突 餘の戰線に對比すれば獨軍は攻撃開始以來已に其の外防禦線を奪取し少きも五吉米突多きは八吉米突の前進を敢行し今や其の攻撃正面は合計四十吉米突以内に短縮され殊に要塞の東北正面に於ては已に殆んどルーヴモン、ドーモン、ヴォー、ダンルーブ及びエー要塞に近接して間斷なく

△強襲を反覆 しつゝあり而して獨軍は對壕及び坑道を併用して逐次堡壘に肉迫し居るもの如く佛軍亦防禦坑道を以て應戰しつゝあるが如きを以て要塞の東北正面に於ては近く悽惨極まりなき大地中戰の演出ありたる後此の方面の勝敗を決するべし之に反しミユーズ河の西方地域にては獨軍今尚ほマランクール及びアヴオクール附近の佛軍の

△外防禦線に 向ひ之が攻撃に至大の努力を拂ひ佛軍亦死力を盡して頑抗しつゝあるも遂に本月一日マランクールの一角は獨軍の手に歸しマヴァンクール亦刻々危機に瀕しつゝあるもの如し此方面にして萬一獨軍の勝利に歸せばヴェルダン本塞は側面及び背後に强敵を受くるに至るべし然れども本要塞戰にありては佛軍に有利多ければ獨軍の苦心も亦察すべし(地圖參照)



ヴエルダン要塞戰現況図

放浪漫記

大谷光瑞 (大正五年二月十四日ボンベイに於て)

(承前)ナシツク丘側に帶の如く二十二の洞穴を鑿れり然れども丘小にして窟亦アジヤンタの壯觀に及ばざる事遠し然れども此の石窟に刻文を存し記録を知るべく印度文字の變遷を知る一の好目標なりこの石窟も西暦紀元前二世紀より紀元後六七世紀に及びアジヤンタと大差なかるべしと云ふカーリーは洞穴多からず平地上に立てる約一千尺の丘脈の南側四百尺の處に鑿てり然れども精舍に用ひし石窟の壯大なるは他の及ぶ所にあらず百二十尺の深さと四十五尺の輻とを有し四十六尺の高さを有せり天井は圓形をなし側壁には石柱を刻ね最奥に佛舍利を安置せる石塔を有すこの形狀はアジヤンタ、ナシツク皆同じと雖も壯大の點に於て皆カーリーに及ばず蓋し開鑿の時期は殆ど同じく碑文等によりて西暦紀元前二世紀に近からんと云へり小生は印度遊覽の人士にこの石窟寺の探勝を切に勸告致し候此を見れば概ね一般を知るに足るべく特に道路の便に至つては他の石窟寺の及ぶ所に非ずシーロンここ郡都を離れマドラスを經てボンベイに至る時は僅々三時間をルナウラ驛に費せば可なり即ち一列車を遲延するに過ぎず特にプーナ、ボンベイ間は汽車往復頗る多く一列車を遲るゝも他の十二時間を捨つるが如き不便なし是れ遊覽者の最も喜ぶ所なりとす蓋し石窟寺の紀原は印度にありて後遠く中央亞細亞を經て支那に入り洛陽の龍門山西省の大同府の如き六朝の石窟寺を出だせり然れば石窟を探る亦好奇のみに非ず唯西ガートの一帶最も遺憾とする所は嚴石くずしの玄武岩なるを以て粗質にして脆弱の爲めに彫刻の精妙を缺けるは止むを得ざる所なりとす小生は暫時此の附近の探勝をなし炎熱の加ふると共に北上の心算に御座候 匆々

なんでも錄

東京 忍齋生

數日前、蘇峰先生は余を側に呼んで「君、政治、經濟、宗教、文學、教育、社會萬般の出來事を、なんでもよいから、隔日位に、三四十行ばかりのものを書き京城日報に特別通信して與れ給へ」と云ひつけ給ふた。是れ余が之れを「なんでも錄」と名づけた所以である。而して其の文章も時として議論もあり、或は[illegible]

女給員の萬引

曾つて東京女子大學を卒業して同校の事務員に採用せられた某女は、或る日、日本橋の呉服店に行き御召縮緬一反を萬引して捕へられ、公判に附せられた時、裁判長が『御前は高等教育を受けた立派な婦人であり乍らどうして他人の物を盗むやうなさもしい心を起したのであるか』と問ふたら、某女は『つい綺麗の欲望に其の反物ばかりが見えて其の側に人が見えませんでつい盗む氣になりました』と答へたさうだが、近來東京には斯う云ふ教育のある不埒の婦人が段々多くなつた、是れも畢竟虚榮の結果である。

昔『列子』と云ふ本にもそれと同様なことが書いてある、曰く『昔齊人に金を欲する者あり、清旦衣冠して市に之く、金を鬻ぐ者の所に適き其の金を攫で去る、吏之れを捕へ問ふて曰く、人皆在り、汝、人の金を取る、何ぞや、對へて曰く金を盗み去る時、人を見ずして只だ金のみを見たり』と、是に於て余は是れ必ずしも列子の寓言にあらざるを知つた。

京日詩壇

復和範島紫峰次韻　永井 烏石
貴功名不敢論。風流間占別乾坤。故園松菊依然好。歸去復無塵累繁。
評曰 絶好唱和、清適之至。

同上次韻　富澤 雲堂
宦海有時煙霧迷。十年七處劍書攜。閒雲出地無塵影。鶴唳一松梢雪滿溪。
評曰 清穩自然、一結有高致。

同上次韻　木田 芳洲
墨客當樓秀氣發。笙歌四十八溪潮。清圓意境兼吟境。高臥故山詩築壇。
評曰 命意太佳。

客裳峰次其寄示韻　西田 白陰
文字唯知姓可書。雖擧雜旅詭舟車構。思十日無佳句。勿笑依然學李予。
評曰 句句謙辭而已、但喜構思之妙。

再入吟社　栗原 華陽
恰好梅花香動時。嬌然一笑共敲詩。吾追俗雨年過昔。日友朋今日師。
評曰 眞率之語、寔可欣。
復是風流温舊情。笑聽黃鳥喚嚶嚶。知天道無私照。竹外一枝梅亦清。
評曰 情景温雅。

▲四月特別 シェークスピヤ記念號
英語世界
英國劇の由來と沙翁の活動時代
沙翁の片影
沙翁劇の用語
沙翁傳雜話
沙翁の傑作梗概 (ロミオとジュリエット、ハムレット、ヴェニスの商人、マクベス、其他三編)
△チエリー・ブロツソム(英文)
△英作文の新研究
△商業學校入學試驗問題
▲花くづし
△大懸賞當選發表並に新課題提出
本號(大倍)定價金廿四錢 郵稅一錢
東京本所 博文館

實用測量器械

新學期來!(辭書の選擇は諸君の運命を決す)
文學博士 上田萬年 文學博士 上田敏 兩先生著
第廿三版 訂正 英和新辭典
特價金九十錢(正價壹圓)送料八錢 海外十六錢
使用するに隨つて愈々益々價値を發揮すとは本書に與へらるゝ適評なり、近來頻出の英和辭書中最も多くの使用者を有する所以なり。英語研究の便に最も理想に近く出來て居る。
本美四六判 一〇七二頁

第十八版 ローマ字びき 國語辭典
上田萬年先生著
特價金九十錢(正價壹圓)送料八錢
僅々廿餘のローマ字さへ知れば、容易に語を検出し得て便利極りなし、加之各語に英譯を附したるは各中學英語擔任教師の推奬する所なり
本美四六判 一〇九〇頁

最好評 小學 漢和辭典
國定讀本の字句を悉く網羅し復習豫習に利用すれば最も信用のあるは本書で、小學生が諸君の教案作製に隨一の參考書である
忽四版
國語研究會編纂
見本進呈
東京神田 富山房 (振替五〇二)

帝國法律研究會長 花井薰先生の三著述
貸付妙策と最後の手段 六拾錢 送料八錢
不動産を抵當に貸付する金融者の秘訣、信用貸小口貸の秘訣と金利計算法
諸貸金回收の秘訣 金九十錢 送料八錢
三版 活きた證書の書方と訴訟手續 金六十錢 送料六錢
再版 隈閣破壞の急先鋒‖街頭より攻撃の第一矢は放たる
東京京橋區南鍋町五 山田書店 振替一二七五七

鷺城學人著
鷺城式
鷺城學人が伯大隈、武富一木石井其他内閣諸公を初め、貴衆兩院の名士、陸海軍の人物、實業界の元勳など、あらゆる問題の人物を俎上に上せ例の鋭筆を以て痛切皮肉に縱横論破せるもの本書也、之れ言論の文章とも學人の眞骨頭を最もよく發揮せる一大正明治史とも現代史とも謂ふべく、故に現代社會を非難する士も活躍する人物の裏面史として必讀を要すべき快著也
定價金一圓 送料八錢
發兌 東京市京橋區南鍋町 振替東京二四八〇〇 榮文館

一ヶ年卒業 實業講習錄
●十大特色●
學科は實用を眼目とす
學校は同一の學力が附く
講習期間は僅少で濟む
卒業後は出世が早い
職業の傍勉強が出來る
講師は各學校一流の人
文字は總振假名を用ふ
說明は平易親切を極む
程度は中等教育の標準
賞金賞牌を贈る制度あり
●入會好機●
小學校卒業生は如何に方向を定むるか
商工子弟は何時まで丁稚小僧に甘んずるか
請ふ學校に行く能はざるものは進んで本會に入れ
●講習科目●
商業簿記 銀行簿記 商事要項 商業英語 商業作文 經濟講話 商業數學 珠算 實業讀本 商業實務 商業地理 商品學
●會費低廉●
講習錄は毎月一日十五日の二回に發送し一年二十四冊で全部講習を終る
(一ヶ月)五十錢 (三ヶ月)一圓四十五錢 (半年)二圓八十錢 (一年)五圓五十錢
●本會役員●
總裁 大隈伯
副總裁 澁澤男
顧問賛助員は當代一流の人物
●見本進呈●
ハガキにて御申込になれば無代にて
申込所 東京京橋實業之日本社内 帝國實業講習會

滿蒙發展の最新業
滿洲概要
子爵 大島義昌氏序文
男爵 後藤新平氏序文
滿鐵總裁男爵 中村雄次郎氏題字
前滿鐵總裁 中村是公氏題字
大連市長 石本鏆太郎氏序文
滿洲會編纂
滿洲の内容外形一目瞭然 資本家、企業家、政治家、滿蒙研究者、學生諸君の一讀を勸奬す、目次大要左の如し
總論―交通―鐵道―東馬―河運―海運―殖産―農業―牧畜―鑛業―林業―漁業―工業―製造業(商業―金融)―附錄諸法規
▲全一冊三百五十餘頁 ▲附圖東三省地圖 ▲クロース裝頓佳美
定價金一圓 郵稅八錢
發賣所 東京市京橋區北紺屋町四番地 拓殖新報社 (振替口座東京七七三三番)
發賣所 大連市監部通三十八號地 大陸社 (振替口座大連一八八番)

觀賞樹 山林樹苗 果樹
本町二丁目に花卉、盆栽、種子の出張賣店あり
吉野櫻、八重櫻、赤、黑松、桑、白柏槇、ニセアカシヤ、一行院楓、立田楓、各種楢葉、朝鮮樅、同槇柏、同楓、躑躅、玉伊吹、各種苹果、梨、葡萄
築庭請負、植木販供給、其他園藝一般事業
京城植物園 東大門内 電話一四五

(寄附) 七日の六月限 十一圓十七錢 ─ 十一圓十錢
四月限 三百石
五月限 三萬六千九百石
六月限 三萬四百石

廣東省愈獨立宣言

廣東省は六日午後八時愈々獨立を宣言したるが當夜祝意を表する爲め市内に爆竹の聲高し(上海電報)

廣東省獨立と南方

南方に於ける物資供給の利便 交戰團體の承認と各國外交團

既電の如く廣東上將軍龍濟光は六日午後八時廣東獨立を宣言したるが同省獨立の結果南方各獨立軍は聯絡を取る上に於て一大便利を得たるものといふべし雲貴廣西は山間に介在し交通不便の爲め他より物資の供給を仰ぐ上に於て不便を感じ居りしが海洋に面したる廣東の獨立に依り多數の港灣を利用し物資の供給且つ聯絡の敏活を得るに至れるを以て南方の勢力增進は蓋し甚大なるものあらん而して廣東は南支貿易の中心地にして外人の居住する者多く今後北京政府の政令行はれざるに於ては何人が在留外人の生命財產保護の任に當るべきか勢ひ廣東獨立軍の保護の下に在らざるべからざるを以て自然交戰團體の承認問題は各國外交團の問題として議せらるゝに至るべしと(上海電報)

獨軍死物狂の奮鬪

巴里來電半官報的に報ぜらるゝ處に據ればヴエルダン附近に於ける獨軍は諸地點より同時に攻擊を開始せるが佛軍の逆襲に依りて擊退されたるのみならず敵が此程獲得せる陣地は悉く奪還されたり優秀なる兵に依りて組織せられ密集隊形を以て進軍せる獨軍は佛軍機關砲の爲め全滅され其の後稍優秀なる兵に依りて組織されたる獨軍の一部隊は蠻勇的攻擊を企てたるも特記する程の活動を爲さざりき(倫敦電報)

鹽稅剩餘と我が態度

英佛露獨の四箇國銀行は承諾

日本は最近支那政府への鹽稅收入剩餘金引渡しに對し反對を唱へたるが同剩餘金は數箇月每に五國銀行團より鹽稅監督官の承認を得たる上支那政府に交附し居たりしものにて英佛露獨の四箇國銀行は何れも引渡しに贊成せるも横濱正金銀行のみ其の筋の命令に依り同行預入の分約百萬弗の交付を保留し置くに決せり正金銀行の右の手段は非常に重大なる問題なりと認めらる日本側の言分は目下支那は騷亂の裡にありて鹽稅及關稅徵收に危險を感ぜざるを得ず故に如上の手段に出でたりと云ふにあり他國銀行は借款契約に準據して各自保管分を交附するものと理解せらる(北京特電)

內債發行條件

內債發行に關し當局者及び銀行代表者は六日日本銀行に於て正式交涉を開始せる趣は既報の如くなるが發行額及び手數料に關し兩者の意見合致せず多少行惱みの姿となり其の結果當局は大藏省に引上げて凝議し午後六時に至り漸く解決の曙光を認め三島日銀總裁又銀行側の意見を齎して大藏省に至り協議の結果終に交涉成立を見るに至りたるが當日決定したる條件及び發行手續左の如し

發行額四千萬圓
利息年五分
發行規定は八日發表
償還期限十五箇年の隨意償還
發行價格九十五圓
政府手取九十四圓五十錢
(即發行手數料百圓に付五十錢)

尙大藏省にては七日中に發行規定を制定し八日の官報を以て發表する筈なるが發行期日は條件と關係あるを以て日本銀行にて講究し大藏省と相談の上決定する事と爲せり(東京特電)

內債募集期日

內債四千萬圓の募集期日は四月二十一日より同月二十五日迄にして第一回拂込期日は五月一日なり新公債の名稱は帝國鐵道債券と稱し利廻りは五分六厘七毛九朱に相當する由なり(東京特電)

鑛業出願(札承)

江原道通川郡 …… [illegible]

專門學校設置(下)

關屋學務局長談

▲專門校の組織 次に京城工業專門學校には附屬工業傳習所を置き從來の工業傳習所本科と同程度の教育を施し直接實務に從事す可き徒弟を養成す、尙ほ京城醫學專門學校、京城專修學校は何れも朝鮮教育令並に專門學校規則に基き、朝鮮人に對する專門の教育機關たるを本體とするや論なしと雖も、京城醫學專門學校、京城工業專門學校に於ては便宜之が機關を利用して內地人をも收容することゝし今年度より實施せり、唯其收容人員は生徒總數の三分一以內に止むる筈にして之が入學資格は中學校卒業者より採決するの方針なりとす、京城專修學校は其の性質前二者と同じからざる所ありて內地人を收容せず

▲教育上の慶事 思ふに朝鮮に於ける教育の發達は今後益々見るべきものあるべく普通教育及び高等普通教育を終了し更に專門教育を受けむとするもの亦漸次其數を加へむとするは極めて明白たる事態なりと謂ふ可く、此時に當りて三專門學校の設置を見、朝鮮人子弟に對する修學上の便益と幸福とを得せしむるに至りたるは洵に教育上の一大慶事と謂ふ可し、內地の如き其帝都若くは都會地に於ける學生々徒の氣風は健全なりとのみ斷ず可からず、往々奢侈贅澤に流れ甚しきは遊蕩に耽りて貴重の光陰を徒消し、多額の學資を空費するもの少からずといふ、朝鮮人子弟の留學せるもの亦此等の惡風に倣ひ不健全なる氣風に感染し學生生徒の體面を汚し、父兄の待望をして空しく水泡に歸せしむるものなしとせず、されば京城に於て斯く專門教育を授くるを得るの今日、父兄の安堵亦豫想の外なる可く獨り子弟の便益と幸福とを齎らすのみならざるや必せりと謂ふ可し

生絲三回輸出

京畿道恩賜製絲場より横濱市場に出荷中なりし生絲は三十一日を以て百斤千三百五十圓にて賣買契約成立したり今回の分は第三回の移出にして全部九梱(一梱は九貫目)此價額六千八百圓なるが生絲は全部米國へ向け輸出せられたりと云ふ更に第四回分として來る十日頃移出を爲す筈なり第一回分よりの價格を比較すれば一回千三十圓、二回千二百三十圓、三回千三百五十圓と順次高騰し居れり

增設師團及軍司令部

師團編成順序と管區 軍司令部永存の理由

▲順序に三階段 朝鮮に二箇師團增設するに就き之が三期に於て完成さるゝを見ていゝ第一期即ち大正四年度から六年度に到る三年間には第十九師團と第二十師團の步兵一箇旅團とを完成する全國の各師團から一箇聯隊宛を集めて編成した譯である—然し之は表面上の事であつて事實は第十九師團の一箇旅團と第二十師團の一箇旅團及び特科隊の無い步兵許りの一個旅團とが第一期に於て出來た譯である然し第十九師團司令部は羅南に駐在すべきもので國境師團である然も現在に於ては位置上暫時龍山に駐在する事と爲つたが從來の駐劄軍を新師團に變更した爲其軍隊所在地の關係から第十九師團の管下に屬すべき兵力が一個旅團丈け外無い而して先づ完成を要ある部隊は國境部隊である、と云ふ處から將來第廿師團に所屬すべき平壤の第廿九旅團を暫時第十九師團管下に置き師團司令部を羅南に移すまでの中間たる龍山に駐在せしめる事としたのであらう第二期即ち大正七八九の三箇年度に於て第卅八旅團及び第四十旅團の特科隊が設置された時に於て第十九師團司令部は羅南に移され事一に

▲北鮮國境師團 と爲り平壤の第三十九旅團は第四十旅團と共に第二十師團の管下に移管されるのである而して西鮮及び中南鮮師團と爲る換言すれば第十九師團は東北鮮、第二十師團は京釜、京義沿線を其管區とすると云ふ結果になつてゐるのであらう朝鮮新設師團に對する軍司令部の存置に就き一見奇異の感を爲す者があるが臺灣總督府或は關東都督府の如く總督及び都督に軍隊の指揮權あり其府內に陸軍部ありて管內の守備を爲し得ることにすれば譯は無いであらうが然し是れ唯煩雜に渉る許りで事實は軍司令部を置き兵馬の事を司らしめる方が朝鮮總督にも都合がいゝ事と思はれる假に朝鮮總督に其權ありとするも萬一に際して豊夫總督が出動すると云ふ譯にも行かず矢張り相當の指揮官は特に派出されねばならぬ事と爲る然も軍司令部を廢したとすれば軍司令官が軍事參議官の椅子に移る丈けの事で參謀長以下現在軍司令部の要員丈けは矢張り總督府陸軍部とでも云ふ事として存置する要がある結局却つて二重の手間を要しもするし又前にも言ふ如く到底總督は其繁に耐へないであらう今回朝鮮二箇師團增設と同時に發表された大移動と同時に

▲軍司令部存廢が 問題になつたと云ふ噂であるが我輩の考では或は參謀本部の一部の人の間でも其の樣な話があつたかも知れない位に思ふ又或る他の說の如く軍司令部は朝鮮二箇師團增設第二期即ち大正七八九の三年度に於て完成された後に廢止さるゝであらうと云ふのも我輩は否認したい即ち軍司令部は永久に此儘存置されてゐて然るべきものたと思ふ大體に於て理由は有るべき如きである朝鮮の師團は其國の師團とは多少趣を異にするものがある即ち第一に持國を離れて突出した地點に在つて國境の軍に其丈けの理由のみならば臺灣守備隊にしても滿洲駐箚師團にしても同樣の位置にあるが臺灣も滿洲も朝鮮に比すれば兵員も少ないし尙臺灣は單に其島內の守備に任ずる丈けで例へば南支那に萬一の場合があつたからと云つて臺灣總督が守備軍を率ひて出動すると云ふ事は出來ない關東都督府は例へば萬一の場合に際したとすれば陛下の直接の御指揮の下に或は奉天にでも長春にでも移す事は差支ない然し朝鮮總督府はさうは行かないして朝鮮に軍司令部存設の必要があるが而し朝鮮に二箇師團が常置せられ軍司令官が之を統管してゐると云ふ事は其れ許りでも朝鮮內の守備乃至交通は勿論の事滿洲は言ふに及ばず支那の事に就ての研究に資してゐるのは事實鮮からぬものがあると思ふ殊に萬一に際し急遽出動の場合に於てなや(某將軍談)

發電水力調查

遞信局にて前後數年間調査を重ねし朝鮮各河川の發電水力は前年度末全部終了し其後電氣課にて調査の結果を整理編纂し此程完成せし由なるが右に付岡本電氣課長は曰く當初發電水力調査の結果を終了後公表の筈なりしも直ちに發電事業を起すに賴み有望の地點に非ざると之を公表せば唯徒らに利權獲得運動の發生せずとも限らず方々發表を見合したり唯其面目の實業家が相當の事業計畫を齎らし遞信局に出頭の上調査成績を知るの希望を陳せば予等は決して其希を郤けず十分なる研究資料を參考に供すべし然らば莫大の國費を數年に亙り費やし發電水力を調査して得たる所幾千なるやてふ疑問をも起すべきが當局の調査は之れを將來の企業に具ゆるにあり先づ朝鮮造林事業の進行して各地に森林層を形作るに至らば昨年迄に終れる發電水力の調査は頗る有用のものとならん云々

東拓咸南植林

東洋拓殖會社本年の植林計畫に屬する元山附近咸南德源郡府內面德源山及び永登山の植林は既に鎭島苗圃より送致せる樹苗全部植樹地に到著せるを以て長倉技師五日現場に出張七日より開始の筈なるが人夫は每日約二百人宛を使役し四月末迄に終了せしむべしと

陸軍滿洲見學

陸軍大學校にては滿洲に於ける戰跡見學視察として將校學生を五月上旬渡滿せしむる筈にて之と前後して尾野少將引率の滿洲參謀旅行團も渡滿の筈なるが何れも歸途朝鮮を經由すべしと

三宅博士歸東

理學博士三宅驥一氏は八日午前八時三十分歸東の筈

湖南日報發行停止

湖南日報は八日其の筋より發行停止を命ぜられ同時に同日附の本紙は發賣を禁止されたり

南言北語

支那に於て日英の間が動もすれば不和を生ずる樣な事を云ふ者もあり▲英艦が盛んに日本船を臨檢した事を何だか裏面があるかに云ふ者もあるが▲目下支那に於ける日英の關係事件の內では新嘉坡の砲臺で發砲した彈丸代を請求した事件の外は大抵解決して居るとの事である▲廣西獨立の大立物陸榮廷君の妻君は女性ながら天下國家を論じて氣焔萬丈だと云ふ▲陸の蹶起したのも妻君が熱心に同人を動かしたからだ相な▲蔡安命が起つた當時なども大に憤慨して▲妾は王莽、曹操の演劇を見る每に恨み悄然に慨する思がある▲君今にして起たざれば後世の史家は君を以て何と評するか▲と柳眉を逆立てゝ詰め寄せたと傳へられて居る▲蔡鍔を云へば外吏夫婦喧嘩をオツ始めて北京を逃げ出し蔡延は妻君に激勵せられて居る▲斯うなると南北妥協の前に先づ妻君の御機嫌を伺はねばなるまい▲廣東も愈々六日の夜獨立した相なが龍光君も妻君に激勵せられたか何うだか▲英國軍人が出發する時には停車場には妻君が山の樣に別れを惜みに來る相な▲愈々出發となると濃厚な惜別の表情振りがプラツトフオーム一面で行はれるには恐縮千萬だと云ふ▲中には夢中になつてプラツトフオ！ムから轉げ落ちて汽車に轢かれて死ぬる者もあるので▲近頃は婦人達を改札口から入れぬ事になつた相な▲之れでは思ひ切つた戰爭も出來ぬ譯だ

鑛業出願(記事欄外にあり)

本社平壤支局長更任

別府八百吉
神阪退三

右は本社詰となり新に支局長に任候間此段謹告仕候也

京城日報社

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正五年四月一日 (定價二十五錢)

主要目次

◎口繪 高麗版大藏經第一卷の第一頁 黃海道公立學校教員資料講習會成績品及海州公立簡易工業學校生徒製作品 朝鮮の魚類(三色版)

◎大藏經奉獻顚末
◎朝鮮の重要水產物 總督府技師 原
◎李氏國初の法典 高等法院判事 淺見
◎學理より見たる乾畓栽培法 勸業模範場技師 武田
◎英國通信事業の概況(中) 遞信事務官 矢野

◎篤行者事績◎御大禮記念事業◎朝鮮に於ける日本の事業◎大正四年經濟概況◎二月中の朝鮮貿易◎大正四年麥作收穫◎大正四年煙草生產狀況◎水稻被害の狀況及之に對する措置◎テウセンカラマツ播種と苗圃の種類◎朝鮮に於ける高等の一斑(三)◎地方廳の道路工事◎水害復舊工事の概況◎中の鐵道運輸◎學校衞生講演◎教育及補習業◎二月の學校實業◎地方病の豫防◎公醫配置◎製紙に普通學校施設◎朝鮮產絹糸と將來の概況◎就て迷信に因る犯罪◎科學研究と三八對◎教育◎就て茶箱用板に資す◎朝鮮農樂を原料とせる細◎獨日米間の親善に資すべき二大特質◎現代戰爭の◎商狀に機械的方面の觀察◎馬尼新刊家產制度◎海外に於◎科學及び鐵市況◎通信羅馬雜報◎質疑應答◎叙任及◎統計法令及通牒◎判決例

◎朝鮮語の研究 新庄通譯官

◎投稿を歡迎す 原稿締切期限毎月十日

◎販賣店 東京神田巖松堂、朝鮮各地の書店に販賣す
◎廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

朝鮮總督府

新聞記者には本講義錄に依りて六ヶ月後誰でも成れる

新聞講義錄

賞金五百圓 懸賞論文募集 第一回懸賞金提供學 賞詳細は會則に見よ 本會規則書は入會案內に同封す

東京牛込區矢來町十一番 電話番町三六一〇 大日本新聞學會

一冊金八百五拾錢(切込送料) 詳細ハ四月七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

大正名著文庫

四六判總クロース特製美裝 紙數各冊四百頁以上五百頁內外 定價各冊金壹圓參拾錢 郵稅內地各八錢 鮮支各廿錢

第二十三編 柳川春葉先生著 うきせ 貳の巻 ▲裝幀杉浦非水畫伯 ▲口繪挿畫鰭崎英朋畫伯

●實行飛ぶ如く初版再版即日賣切三版出來!!
▼可憐の少女早苗の運命は如何になりゆきしぞ!
▼悲愁は歡喜に次いで來り憤怒は哀憐と共に生ず!
▼叙述の展開と共に讀者の感情も今や高潮に達せずんば止まず
▼襲に大阪浪花座に上場せらるゝや京阪人士を熱狂せしめ今又
▼東京明治座にて新派伊井河合女夫劇にて開演し滿都好劇家の
▼期待を實現し劇界人氣の焦點となる▲劇中省略せられたる
▼波瀾紛糾は本書を俟つて分明也既に劇を觀たる諸君も
▼未だ觀ざる諸君も本書に於て劇以上の劇的情緒を玩味せよ

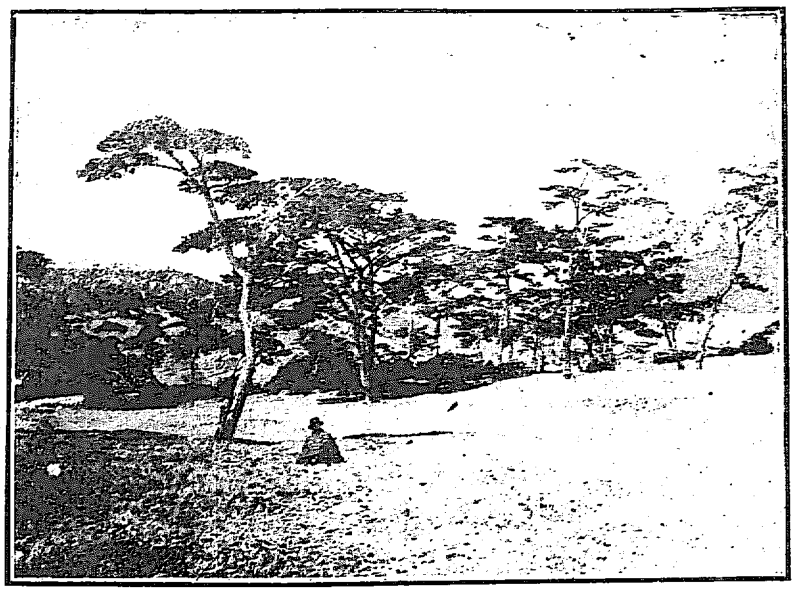
娘持つ親は必ず讀め 兄も弟も姉も妹も來つて此浮世の痛ましき旋轉を見よ

第二十四編 文學博士 井上圓了先生著 迷信と宗教 裝幀中村不折畫伯 忽再版

興深き迷信譚 精透の宗教論

本書は博士獨得の研究にかゝる迷信と宗教との本領を明示せる新著なり。先づ西洋の迷信より說き起し、印度、支那、朝鮮、臺灣、琉球及び五畿八道に於ける各種の迷信に就き、博士が實地見聞せる事實を列擧し、之に說明を附し評論を加へ、最後に迷信の暗雲を破りて宗教の光明を開かれたれば、家庭教育社會教育の好資料たるは勿論平素の座談茶話の修養的材料として亦最適必備の名著なり

東京本石町 至誠堂 振替東京一四七一


下萠に　奬忠壇にて

一本千圓の山人蔘
朝鮮の名物＝年産額二百萬圓＝人蔘の病氣
支那人の好む形態＝根を掘る蟲＝一斤百圓で御買上
＝理學博士＝三宅驥一氏談

むかしから人蔘は朝鮮の名物として誇られて居るが近來は年産額約二百萬圓位に朝鮮に於ける國産の一つとなつた、元來

人蔘といふものは

西比利亞、滿洲、朝鮮、日本、沿海州から遠くベーリング海について亞米利加大陸にも分布して居たものと見えて今でも是等の地方には自生の人蔘が尠なくない、朝鮮でも山人蔘といふのが咸鏡南道あたりの深山で往々發見されるやうだが稀麼のは數十年も經つた人蔘で從つて品質が良いから一本數百圓乃至千圓にも賣買される、また日本內地では會津、信州出雲あたりから産出して居るが米國では今から約百四五十年も以前から

支那に輸出し始め

昨今でも約十萬斤乃至廿萬斤位ゐ出して居る、世界で最も人蔘を需要するのは支那である、支那人は平素これを藥用とし又强壯劑として愛用して居るが彼地では良質の人蔘一斤に對し銀二百兩位ゐを拂つて吝まぬ程である、支那人はまた朝鮮の産を以て第一位に推すがこれは品質なり形態なりが良いからである形は頸が短かく頭が大きく肩が怒つたのを嬉ぶやうであるが形態の調つたのは詰り

完全な發育を遂げ

た事によるのであらう、現に自分が數年來苗床及び苗の藥品消毒を奬勵して以來人蔘の病氣が著しく減少して形態もまた非常に大きくなつたが支那人の好む形態とするには何うしても六年間かゝる、五年でも相當に大きくはなるが胴ばかり肥つて面白くない、自分は去る四十一年以來總督府の囑託を受けて人蔘の病氣豫防に研究して見たが初めに試みた苗床の土壤をフォルマリンで消毒するのは非常に結果が良いやうである、現に役所の方でやかましく云つて完全な消毒をすれば一千本に對し

二三十本の病氣で

濟む、これを以前のやうに開城中の人蔘で約七八割も病氣に罹つて居た時に比すれば非常な好成績を得た譯である、併し苗から本圃に植ゑて五箇年間の間はフォルマリン等を用ふる譯に行かず且つ此の藥では一坪に就き約十四五錢の費用が要るので色々と研究した結果一昨年からは苗を藥品に浸して完全に消毒する事にした、此の方法は既に偶然の發見であつたが成績は非常に良いやうである、また人蔘の

病氣以外の害蟲は

主として耕作人の手で驅除しつゝあるがけらなどの如く人蔘の根を掘る蟲は百匹十五六錢に買上げて居る、また人蔘の發育には藥の完全な保護を要するので目下役所の人夫が勝手に何處でも消毒して廻りつゝある、斯樣な次第で朝鮮名物の人蔘は今や完全な栽培法を行つて著々成功しつゝあるが將來は獨り支那のみならず日本內地に於ても盛んに用ゐさせたいものである、現今支那向きの紅蔘といふのは朝鮮では一本も賣つて居ないので

時に李王殿下が

特別を以て一斤百圓位ゐで御買上げになるが他の者は唯だ白蔘を用ゐるのみである、近來はまた人蔘の利き目が世間に博く識られて來た結果人蔘のエキスや人蔘の葉の風呂などを用ゐる人が多くきた婦人の髮洗ひ洗面用にも非常によいやうで歡迎されて居る、近く日本內地にも紅蔘の小さいのを送り出す計畫だが人蔘の用ゐる方は內地の人にも知らせたいものである、自分は過般

全羅北道錦山郡

邑內にも行つて見たが彼處はむかしから京畿道の開城と並んで栽培の盛んだつた土地である、併しまだ開城の人々程に自分の藥品使用を悦ばぬ風があるのはまだ經驗が無いためであらう

重石が生んだ京城の景氣
大よろこびの旅館と料理屋

昨年秋以來內地の經濟界に未曾有の活氣を呈し成金の出來る時節が來て其處にも此處にも現はれて來たが朝鮮には其の方面からの好影響が少なかつた處が今年一月以來

重石相場の奔騰から延て

朝鮮も又目覺しい好景氣を告げて來た殊に四月一日から實施される事に成つた新鑛業令に由る鑛區の出願者は日に百通以上にも上ると云ふ景氣で有つたから其の沸騰した人氣が京城市に與へた影響は各方面に亘つて尠くない

▲旅館　昨年九十月中共進會でシコタマ儲けた旅館では當分の內お客が無くても困らないどうせ共進會など後は寂れるに極まつたものだと覺悟をして居つた處へ降つて湧いた樣な重石熱で出願の鑛業家が入込んで來る其の金の使ひ方もお茶代の出し振りなどは到底共進會見物の田舍者の比ではない或る旅館では鑛業家を四人宿めて居るので共進會中よりも實入が好いと云つて居る處もあるし

一音信の電報を打つに五圓札を投げ出して剩錢はお前に遣ると云ふ

風であるから女中などはタングステン屋さん程有難い者は無い偶々客は重石屋が來ると宿屋の女將さ女中さてあの人の山はイクラばかりでタングステンは出來ないだらうよと蔭口を叩くと云ふ風である鑛山屋ばかりでなく鑛石買入業者も入り込んで居るから兎に角ホテルを始め各旅館は何れも上景氣である

▲印紙　採掘願書には一通に就て百圓の收入印紙を貼用する事に爲て居るから收入印紙の賣れ高も又盛んであつた今京城郵便局の統計に由つて見ると二月中の收入印紙の賣れ高に比すると三月中の賣上は約三倍に達して居るが殊に出願期日前の三月二十日より三十一日に至る十日間の賣上高は非常なもので即ち左の如くである

▲二月合計　一萬八千九百十九圓十八錢九厘
▲三月合計　四萬二千三圓十二錢四厘
十日迄　五千九百二十七圓七十五錢五厘
二十日迄　四千八百七十九圓三十七錢五厘
卅一日迄　三萬一千百九十五圓九十九錢四厘

となつて居る即ち二十一日より三十一日に至る十日間の賣れ高の異常を示して居るは重石採掘願書に貼用してからである

▲代書　願書作成に就て代書人も亦尠からぬ儲けが有つた頼み人が山師であるから頼まれる方も横町の洗濯婆の手紙の代書程に安くは書かぬ即ち一通に就て地圖付五圓然らざるものは三圓少し六箇敷い願書に成ると十圓乃至二三十圓位取るのも有るさうだ

▲測量　少し位いコンパスの使へる測量師の下働きなどして居た男は皆な三月下旬頃から圖引に雇はれて一日三四圓の賃銀が取れたそればかりではない人の拵へた地圖の模寫で大金儲をして居る向きもあるとの事である

▲料亭　斯んな仕事には呑み食ひは付きものである一寸地圖を見せて貰つたからと云つては晩餐を一緒に喰べる一寸運動して貰つたの紹介して貰つたと云つては底拔け騷ぎを爲ると云ふ有樣だから料理屋の女將連の內には近來お稻荷樣には御無沙汰勝に成つて重石の片塊に御燈明を上げて居るのも多い

◉白晝二十三回の放火
巫女に唆かされて

京城東小門外貞陵里にては昨年十月以降白晝出火すること頻繁なれば里民は不安を抱き必らず鬼火ならんと言ひ傳へ居ることを高陽署にて探知し嚴探中の所放火の疑ひあるより同里十二統四戸孫與元が妻柳姓女(二十)を引致し取調べたる結果同人は昨年十月十三日より本年三月二十日迄に自宅及び柳興柱方、張仲煥方、張致與方、金學敏方、金完釗方等へ白晝自分の長女孫音金(二)次女孫夢伊(二)の兩名に見張をなさしめて都合二十三回の放火をなしたるも其都度大事に至らず消止めたる事判明せり其の原因は不明なるも柳姓女の宅前に大なる槐木ありたるを道路開通上差支へありとて里民協議の上伐り倒したるより迷信說を傳へて一儲けせんものと同里の巫女等に敎唆されて右の次第に及びたるならんと

◉婦人を弄んだ黒い手

住所不定の金基七(三七)は京畿道振威郡西炭面の崔召史(三〇)が夫に死に別れ獨身者なるを奇貨とし一儲けせんものと甘言以て欺き昨年十二月七日京城に連れ出し一月八日頃迄同棲し弄びたる上北米倉町李星根([illegible])に其の情を告げて二十圓に賣却し星七は內金七圓を受取りて同女を星根に引渡したるに一週間の後同女は離別を求めたるを以て詮方なく七圓は元々通り返金して崔召史を引取り次は淸進洞の金泰植(三二)に金三十圓にて賣却して內金十圓を受取り泰植は同女に密淫賣を營ませたる上更に蓮川居住の李廷天に轉賣せんとせるを崔召史が探知して訴へ出でたるものにて前記三名は誘拐罪として鍾路署に引致されたり

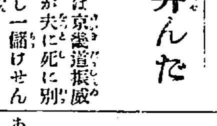
◉古靴十九足也

京城並木町靴修繕業孫昌俊(二三)は昨年十月二十日頃仁寺洞金浩淑方に忍び入り短靴一足(七圓)を窃取し住所不定の古物行商李慶杓(二一)をして賣却せしめたるを手初めに本年三月十八日迄に京城各町に於て靴專門の泥棒を働き都合十九足を窃取し其都度李慶杓をして賣却せしめたること發覺し兩名共鍾路署に檢擧されたり

◉春季擊劍大會

九日午後一時より京城鍾路警察署に於て京城府內各警察署其他諸官署より多數の劍士集合の上春季擊劍大會を開催する由因みに同日は多分古海警務總長以下司令部總監部員等も參觀すべしと

一人前になるまで
—（五）—
鐵道員



あの忙がしい鐵道局員の生活、官吏であると同時に商人以上の愛嬌を振りまかねばならぬ鐵道局員の生活、

◉比較的著實な人

この方面に向て身を立てる青年には人が多いやうである、何と云つても判任官の十一級俸から二級俸まで漕ぎつけるのに約三十年前後の年月を要する仕事であれば極めて下級の雇員傭人から身を起すにはなみ一通りの辛抱ではなからう、併し十五六歳の少年時代から汽車の中に育つて後生大事と働らく人には明るい前途の光明がある、

なつて傾聞する青年に比すれば斯の如き鐵道少年の身の上は幸福である一般驛員のことに就いていはねばならぬ、私は先に鐵道運輸に屬する一般驛員のことに就いて謂ふのであるが普通小學校を卒業して驛夫となつたならば先づ目下の職務を見習ふ他に龍山の

◉鐵道教習所に

入つて一般の鐵道運輸に關する智識を授かる、其の次ぎに同地の電信教習所に入つて電信の事を學ぶこともできる、學習の時間は僅々六箇月であるが斯くして一人前の鐵道員となればその次に雇員の試驗を受ける斯くて五年間實務に執掌すれば判任官見習の試驗を受ける資格が能きてそれからは漸次に進級の途が展ける、また

は一年に二三名宛選拔されて東京の鐵道院中央教習所に向けられる、此處では電信課、業務課、語學課の三つに分れて居るがこれを出た以上は立派な驛員として羽振が利く譯である、驛で相當に實習した人は又た列車掌となるのが順序である、單に車掌といつてもその內にいろ〳〵あるが車掌の職は驛員として

◉立派な地位で

ある今日の如く朝鮮鐵道が歐亞を連結する幹線となつた以上朝鮮鐵道の車掌は少くとも二箇國の國語を知らねばならぬ、現に今日でも英語と露語とは驛員の最も勉强しつゝあるものであるが驛員となるも蓋し容易なる事では無い、次ぎに上級の驛員となる人には中學校、甲種商業、鐵道學校乃至高等商業、外國語學校の出身者が多いやうである、これ等の人にも頭の優れた人は鐵道院中央教習所に入つて勉强の上立派な驛員として働らいて居るが甲種商業出身は始め先づ貨物係から車掌に進み次いで驛制に關する商業事務を司る、中學出身はまた始め改札から貨物、車掌と進んで現業員の中心となるの順序である、兎に角朝鮮では南大門、釜山、新義州驛の驛長となれば立派な高等官として此の方面の成功者であると云へる（赤帽生）

松材販賣廣告

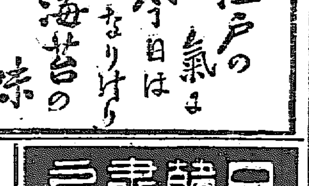
一李王職花山森林拂下松材
土工橋梁建築用丸太及挽材各種
今般左記出張所相設安價販賣可致候多少に不拘御用命御付被下度願上候
京城岡崎町（電話二八〇〇番）
允三幸洋行

特約販賣店　龍山漢江通（電話二三〇番）㈥那須材木店　主任　松井吉太郎
松生丸太（末三寸以上口六寸以下）杭木用材
天安驛　平澤驛　多數出材仕候間不相變御引立御用命仰付被下度願上候
餅店出張所　餅店驛前　松井吉太郎

印入大勉强

仁川港　富澤商店　電話二三六番　振替京城二四六番

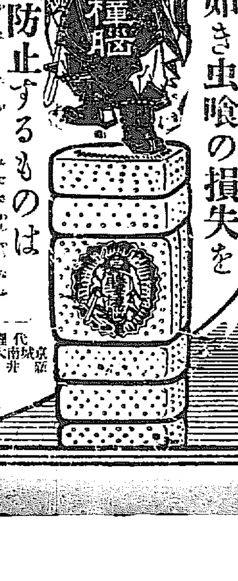
人事百般並に家相專門
易は桐原に限る本舗は學術とを以て百中百的なり
京城本町三丁目總監部入口
陰陽學士　桐原象考



江戸の氣ぞ今日はなりけり海苔の味
乾海苔
味附海苔
燒海苔
海苔佃煮
東京日本橋通り二丁目
海苔商　柳屋

日韓書房
新版報告
橋本留喜著　新式自習辭典
厨川白村著　縮刷近代文學十講
內田魯庵著　きのふけふ
加藤咄堂著　增補雄辯法
武田大郎著　家庭實用武田經濟書　上下卷
京城本町二丁目

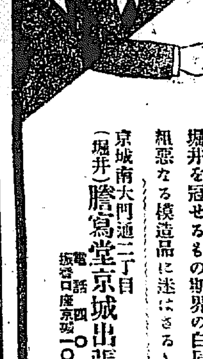
廣告
拙者儀貴店に於て在東京國定教科書共同販賣所と特約の上慶尙南北道、全羅南北道、咸鏡南北道、江原道の七道に御賣捌相成居候國定小學校教科書弊店に於て信義に背き販賣致候段貴店に對し何んとも御申譯無之候就ては爾後斷じて斯る失態不致候に付茲に謝意を表し候也
四月七日
釜山府大廳町　大阪屋支店　佐々木喜三郎
釜山府大倉町　國定教科書特約販賣所　博文堂　吉田市次郎殿



塵積りて山を成す
山の如き虫喰の損失を
絕對に防止するものは
名聲山より高い鐘馗印
各地藥店小間物雜貨店にて販賣す
代理店　京城南大門通二丁目

▲見よ！時代要求の珍書出で好評嘖々
鴨田脩治著
一名產兒制限論　避妊の研究
少く產で多く教育せよとは本書の主張なり、今や避妊の研究は既に時代に入りて成績顯著也是れ世界を風靡せる生活難救濟の一大根本策一讀あれ

第二十版
長身肥滿法
陸軍砲兵曹長飯塚久敏著　◉郵券廿五錢送付あらば直に送本す
せの低き人　やせたる人
本書によれば高くなり病後産後其他で生れ付の人にても忽ち肉付强健となる不思議の療法なり世間短軀又は痩せる方は悲嘆せる方は一讀あれ
◉發行所　東京本郷丸山福山町四番地　日本藥學協會



堀井謄寫版
堀井を冠せるもの斯界の白眉なし
粗惡なる模造品に注意さるゝ勿れ
京城南大門通二丁目
（堀井）謄寫堂京城出張所
電話四二番　振替口座京城一〇五八番

內科　小兒科　入院隨意
京城明治町（元善隣學校隣）
中島醫院　電話三七八番
院長　中島貞信

千生瓢 (176)

須藤南翠作 筒井年峰畫

犬山城（三）

流石に顔を顰められて、勘右衛門も面羞く、三十男の面上に、血の紅が走つたのであつた。同朋は横手を拊つて、

『一を措いて二を匿ふは、卑下する弱みのあればでおざる。今一家中に並ぶ者なき、出頭第一の中川殿の戀せらるゝに、一を捨て二の町を採らるべき筈はおざらぬ。さては愈々梶川が娘おざりまするな』と膝を抉るやうに言つた。

『笑はれな。莫迦ぢや、其方が見透しの占通りぢや』

勘右衛門も是非なく欝懐の緒を解いた。

『梶川風情の娘を御所望とあるに、雁の翼の、雲の梯のと、左樣な道具立が何故要りまする。御家來のうち然るべき者を遣され、汝が娘所望ぢやに依つて、速かに差出せ。就て結納として何程、支度料として何程、之を遣すと仰せ渡さるゝに、彼何と違反申しませう。五百貫の足輕頭が、御家老職と縁を結ぶ事、三拜九拜して速かに御受け申さんこと、鑑にかけて見る如しとおざる。いやいや御使者までもおざるまい、事を以て當城へ招ぎ寄せ、振舞酒に醉はしてのち、御自身に口説給はゞ、早速娘を引連れて、殿の御手に捧ぐるは定のもの。何是しきに念ひ患ひ給ふ事かは。武勇は人に勝れたから、戀には卑怯な殿おざるよ』

同朋はこゝを瀬として煽動立てた。言ふ所悉く理とは聞かねども、勘右衛門もまた抑け難き節もあるので、勘右衛門も自から心釋けて、この戀の稲を内々同朋に頼むのであつた。

同朋は頼く受け込んで

『最易い事おざりまする。梶川は五百貫の祿を頂戴しながら、平生日來の武器道樂、時には父子が裸體になつて、身分不相當の名器を買ひ入るゝなど、彼で身代はかんからかん、表では風車、内では火の車、廻るは〳〵くる〳〵くるり、目の廻る貧乏武士、貧の病の大妙藥に、黄金湯の七加減、内證から持ち込めば、出來る出來ぬはおざりませぬ。何と御合點おざりまするか』と秘中の秘訣を吹き込んだ。

同朋が幾干の黄白を持ち去つてから、既に月をも踰えたれど、梶川が方よりは、何の挨拶も聞えなかつた。勘右衛門は物に怺へぬ性質とて、急に同朋を呼び寄せた上、居丈高に其不都合を詰責した。

同朋は重からぬ頭顱を、幾たびとなく疊に摩り付けて

『御道理、全く御道理、如何にも御道理千萬おざるが、小子が苦心慘憺、御汲取り下さらば、其御怒はあるまじき筈、先づ聴かせられい』としかつべらしく居住ひを正した。

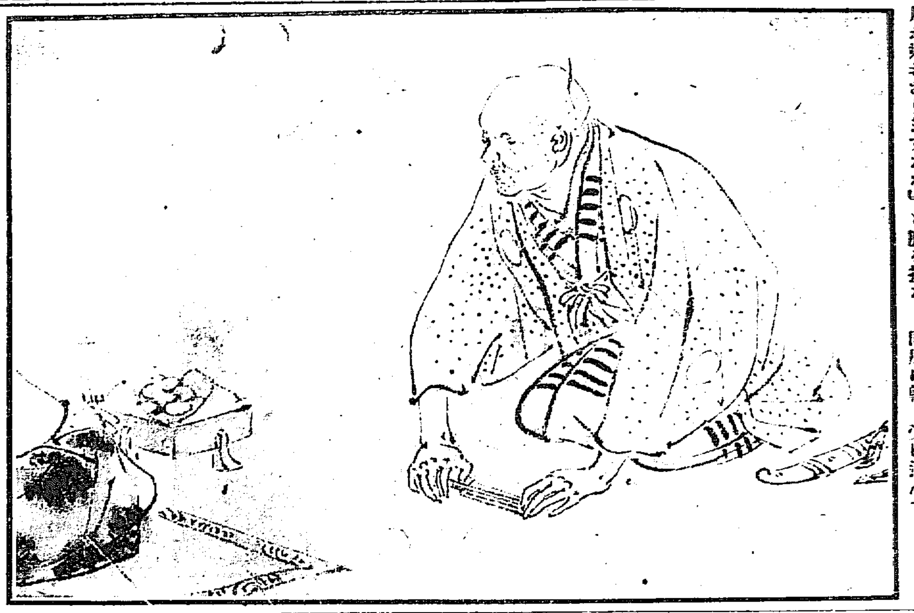
『小子元來梶川とは面識もおざらんだが、追々と手蔓を手繰て、彼方に知慾の結び申して、倩々娘を見まするに、今一家中に評判さるゝも無理はおざらぬ。耳にのみ聞き、目にはまた見ぬ、上野介殿の三姫君、即ち淺井備中守殿の忘れ記念、柴田修理亮殿が愛姫、小谷の御方が最愛の名殘、お茶々樣、おはつ樣、おの樣、三五二八の月と花、日本一の美人の腹から、日本一が三人まで生れたと、此邊までも噂しい評判おざるが、其は小籠洩るゝ伽羅の餘香、此には目に見る珠の輝き、彼姫君の一方には、恐らく蹴られぬ美人と申し、其物ごしの尋常さは、また格別の優美おざつた。殿、見ぬ戀に痩せられたも、さら〳〵御無理おざりませぬぢや』

『さては世評に僞りは無かつたぢやで。さらば平左が返事は何とぢや』

勘右衛門は怒りを忘れて、口を緘くして乘り出した。

『其處でおざるよ、殿。小子が御縦を振ふまでもなく、當時日の出の中川殿、若し縁あつて娶らるゝ事ならば、娘の爲にも行末の安堵、一期の榮譽、此上はおざるまいと、親の身の悦び、偏に御察し下されたい、と、な、平左の口上おざりまするよ』

同朋は扇ばち〳〵鳴じ立てる。



銀巣會小集

春雨

小格子の砂利刻み春の雨せる　泥下
湯戻れば貧なる親や春の雨　同
張染の紺屋黄昏るゝ春の雨　同
木々挨り春雨待つや草葉屋　對洋
春の雨海靜かなり釣舟遲し　同
山麓の一村靜かなり春の雨　水澄
灯影淡う葉打つ音や春の雨　拝水
紅の絲解けにけり春雨に　行人
大盃小盃春の雨夜かな　堤水
唄ひ女の春雨しられ假粧散　于明
街斜め春雨傘や小走りに　天遞
渡し守呼ぶ聲細し春の雨　三木
春雨や數多傘あり渡し舟　汀々
磯は家並蠟打つ音や春の雨　不足
何を物見の番傘の數や春の雨　同
京は寺春雨宿に茶を點す　草二
荷忘れし舟呼ぶ渡頭春の雨　同
高札は花川名殘り春の雨　同

◉開城蛙鳴會第三回俳句

梅井闌雪宗匠選

春風、雲雀、柳

振袖の緋裏翻るや春の風　尾花
一本の柳に殘る古蹟かな　松都
春風や汀に菰の角ぐみて　梧風
雲雀野や笠も阿彌陀の嫁御寮　孤樹
啓蟄なつけす捌くや垂柳　風竹

軸
春風に浮ぶ小船や淡路潟　翠風

人
雲雀野や趣味あり餘る朝朗　花月

地
平野千里我物にして鳴雲雀　心犀

天
富士迫る立場の茶屋や青柳　紅川

讀者の領分

春の陽氣に連れ南山の風景も日増しに一層よくなりますが只だ私共薄給者の住居には庭がありませんため植木の一本も植ゑることが出來ず毎日南山公園の眺めを樂みに致して居りますが妓一箇月もすれば旭町一丁目黄鳥谷入口附近の人家のポプラの枝が屋根以上に長く延びて折角の眺望もなくなりますが何卒御情を以て屋根位の處にて枝を切落して下されますまいか（旭町一丁目懇願生）▲二三年前林檎及び梨の苗木數百本を南大門通りの某種苗店（か又は農園）から預つて居ますが未だ御引取にならぬので年々枯死して大分へりました御心付の御方は本月十日迄下記へ御一報を乞ふ同日迄に何等通知なき時は放棄しますから左樣御承知を乞ふ（議政府驛前伊藤運送店）▲何處のお役所でも時間の勵行で出勤時刻にはちやんと出揃つて御坐るから人民が大層都合よくなつたこの頃のやうにいつ迄も續かせたいものだ（京城府民）▲目下東京では狂犬病流行の傾向ありて統計上昨年と本年の同月比較上本年は約三倍の發生ありと聞く當京城に於ても去月二十五日古市町に發生したる事は本紙で承知して居るが今又並木町に發生した其後ポツ〳〵方々に出る模樣で小生はビク〳〵して居るのだから狂犬病が出る季節だから畜犬飼養者は充分注意が肝要である（愛犬生）

新刊紹介

▲婦人週報（二の一四）四錢五厘東京市牛込區市ケ谷田町二の一七其社
▲ローマ字（一一の四）十二錢東京市麹町區有樂町一の三ローマ字ひろめ會
▲ゼ、ジヤパン、タイムス、スチユーデント、エヂション（五の一六）十二錢東京市麹町區日比谷公園前ジヤパンタイムス學生號出版所
▲新報知（七の四）二錢東京市京橋區南傳馬町三其社
▲茶業界（一一の四）十錢靜岡市追手町二二九の一其發行所
▲英語界（三月號）十錢東京市牛込區矢來町三山里九四其社
▲一大帝國（一の二）十八錢東京市芝區琴平町二其社
▲兒童研究（一九の九）十六錢東京市東輪區西片町一〇其發行所
▲農業世界（一一の五）農業に關する論說記事十數の外林業水產副業海外雜錄の各欄及敎育家庭修養等の記事をも載せたり（二十二錢東京市日本橋區本町三博文館）
▲海紅（四月號）碧梧桐の「てにをはに關する二三例」其他俳論俳句消息（二十四錢東京下谷上根岸七四其社）
▲實業之世界（一三の七）三宅河上幸田各博士、中小路貴族院議員寄稿有美野依秀一其他諸名士の論說及び商工業發展に關する諸說を載せたり（十三錢東京市麹町區有樂町其社）
▲大陸（四月號）本號は常に滿蒙に於ける[illegible]（十五錢東京市麹町區[illegible]其社）
▲工友（二ノ六）[illegible]（十錢京城[illegible]其社）

京城學校組合告示第七號

大正五年度京城學校組合歳入歳出豫算左ノ如シ

大正五年四月五日

朝鮮總督府府尹 金谷充

大正五年度京城學校組合歳入出豫算

歳入
一 金貳拾壹萬五千九百貳拾圓 經常部豫算高
一 金壹萬七千六百八拾九圓 臨時部豫算高
合計 金貳拾參萬參千六百九圓

歳出
一 金拾九萬參千五百七拾五圓 經常部豫算高
一 金四萬參拾四圓 臨時部豫算高
合計 金貳拾參萬參千六百九圓

歳入出差引殘金ナシ

歳計剰餘金ノ十分ノ三ハ特別基本財産ニ編入ス

歳入 經常部

第一款	組合費	金拾五萬參千百拾參圓
第一項	戸別割	金拾五萬參千百拾參圓
第二款	使用料及手數料	金四萬九千四百八拾圓
第一項	學校授業料	金四萬七千貳百貳拾五圓
第二項	幼稚園保育料	金千百五拾五圓
第三項	督促手數料	金百圓
第三款	財産ヨリ生スル收入	金壹萬參千九拾壹圓
第一項	基本財産收入	金七百壹圓
第二項	貸地料	金壹萬千五百五拾圓
第三項	貸家料	金八百四拾圓
第四款	雜收入	金貳百參拾六圓
第一項	運用金利子	金七拾六圓
第二項	物品賣却代	金百圓
第三項	滯納處分費	金五拾圓
第四項	雜入	金拾圓
經常部計		金貳拾壹萬五千九百貳拾圓

歳入 臨時部

第一款	繰越金	金七千五百圓
第一項	前年度繰越金	金七千五百圓
第二款	過年度收入	金參千圓
第三款	補助金	金四千八百八拾九圓
第一項	國庫補助金	金四千八百八拾九圓
第四款	寄附金	金貳千參百圓
第一項	特別基本財産指定寄附金	金貳千圓
第二項	寄附金	金參百圓
臨時部計		金壹萬七千六百八拾九圓
歳入合計		金貳拾參萬參千六百九圓

歳出 經常部

第一款	事務所費	金壹萬六千參百四拾圓
第一項	給料	金九千百五拾圓
第二項	旅費	金四百貳拾四圓
第三項	宿舍料	金千百七拾六圓
第四項	傭人料	金七百七拾五圓
第五項	雜給	金千四百六拾參圓
第六項	需用費	金貳千參百拾貳圓
第七項	庫諸費	金六百六拾五圓
第八項	雜費	金參百七拾五圓
第二款	會議費	金千參拾五圓
第一項	費用辨償	金九百圓
第二項	需用費	金百參拾五圓
第三款	小學校費	金拾貳萬六百四拾七圓
第一項	給料	金七萬貳千貳百七拾六圓
第二項	旅費	金千貳百九拾壹圓
第三項	宿舍料	金壹萬四千七百拾四圓
第四項	雜給	金壹萬貳千百拾圓
第五項	需用費	金壹萬貳千貳百八拾貳圓
第六項	修繕費	金五千參百四拾六圓
第七項	雜費	金貳千六百四拾八圓
第四款	高等女學校費	金參萬貳千貳百四拾六圓
第一項	給料	金壹萬九千九百拾圓
第二項	旅費	金四百八拾圓
第三項	宿舍料	金參千百七拾四圓
第四項	雜給	金參千八百參拾五圓
第五項	需用費	金參千四百七拾壹圓
第六項	修繕費	金千四拾參圓
第七項	雜費	金參百參拾參圓
第五款	[illegible]記念幼稚園費	金參千四拾[illegible]
第一項	給料	金千貳百九拾六圓
第二項	旅費	金拾圓
第三項	宿舍料	金百參拾貳圓
第四項	雜給	金四百貳拾五圓
第五項	需用費	金五百六拾參圓
第六項	修繕費	金四百九拾六圓
第七項	雜費	金百拾八圓
第六款	簡易商業專修學校費	金千四百貳拾五圓
第一項	給料	金千參拾貳圓
第二項	需用費	金參百六拾貳圓
第三項	雜費	金參拾壹圓
第七款	學校衛生費	金千五百拾貳圓
第一項	雜給	金千貳百七拾圓
第二項	需用費	金貳百四拾貳圓
第八款	基本財産造成費	金四千四百六拾五圓
第一項	學校林造成費	金百五拾圓
第二項	組合造林費	金貳百圓
第三項	特別基本財産編入金	金四千百拾五圓
第九款	財産管理費	金四千四百八拾九圓
第一項	管理費	金貳千八百九拾參圓
第二項	諸税	金千五百九拾六圓
第十款	國庫納金	金六百九拾貳圓
第十一款	支出	金七百四拾貳圓
第一項	借地料	金貳拾參圓
第二項	滯納處分費	金五拾圓
第三項	過年度支出	金六拾五圓
第四項	一時借入金利子	金六百四圓
第十二款	豫備費	金六千九百四拾貳圓
經常部計		金拾九萬參千五百七拾五圓

歳出 臨時部

第一款	小學校費	金壹萬八百六拾圓
第一項	改築費	金貳千六百貳拾六圓
第二項	元町小學校整理費	金千貳百七拾壹圓
第三項	設備費	金參千五百七拾九圓
第四項	校舍新築設計費	金貳百圓
第五項	櫻井小學校整理費	金參千百八拾四圓
第二款	高等女學校費	金貳百貳拾五圓
第一項	改築費	金貳百貳拾五圓
第三款	學校衛生費	

商況

大阪株式特電

[illegible]

▲相場變動す

[illegible]

▲現物界

[illegible]

京日案內

普通（一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢增）

●鮮人募集 多少外交に經驗ある者履歴書携帶來談 俸給手當給す 黄金町一ノ六〇國民與產會社出張所 60

●店員及び手代入用 但し商業に經驗ある者 壽町百二十番地 大橋大三郎 59

有給外交員採用 月給二十圓以上希望者履歴書携帶本人來談 京城花園町帝國圖書普及會支部 57

●古本品拂底に付無比高價買入 御一報次第即刻參上 ▲京城本町四 電話二七八一番へ 書肆 雅書堂 40

▲善隣學校の其他前期分の御不用教科書類高價買入 京城本町二 電二五二七 ウツボヤ書店 453

●女子見習助手至急入用 年齡十七歳より廿二歳位迄希望者履歴書携帶本人來談 長谷町 長市齒科醫院 20

今！今◉すぐ申込まれよ今！今◉ 新刊雜誌巡廻讀會 ◉（電一三七八）◉ 京城本町一の四九 松井松榮堂 8

◉古本なら野村 買入誠實御報參上 京城本町一丁目（明治町筋） 電二六三六番 野村書店 16

看護婦五十名募集 京城櫻井町二ノ一八九 朝鮮看護婦會 電二九一二 34

◉古本買入 ▲▲御報參上 ▲▲地方送金 電話八六五 森田文光堂書店 京城本二 17

番外（一回前金六十錢無割引 匿名一回毎に金五錢增）

倉庫敷地貸升 南山町二丁目（本町二丁目附近）御用の方は電話二七一二番 太平堂名刺舖へ照會あれ 56

貸地 東小門外畑宅地三千六百坪外に山野壹町三反歩オンドル拾貳間（條件附）貸渡したし 旭町一の一 電話二三一 井上出張所 50

工女十名至急募集 市内確實なる引受人を要す 年齡十七歳以上三十歳以下身體强壯にして相當の勞力に堪へ得る者本人來談 京城岡崎町八番地 京城清涼社 55

▼鑛物各種分拆 京城太平町二の一二五 坂本分拆所 49

貸家 南山町二丁目卅一番地 郵內の西洋舖及其他の家屋等を分割し御貸可申候 鐘路一丁目八番 電話 井上藥品部 50

●花柳病外科專門 ▲司生堂醫院 入院隨意 京城南大門通（農工銀行裏） 434

各種萬年筆修理應需 地方よりの修理は往復端書にて照會次第見積差上候 京城若草町一六四 秋田屋地方部 13

內科 兒科 專門 胃腸 呼吸器病 京城本町二壽町元中島病院跡（入院隨意） 山田醫院 電話二八八〇番 23

恩給 年金 恩給年金低利貸付 但短期立替貸付 京城若草町停留所前辻入 西村商會 24

好職 利益多大美術ゴム事業老幼男女誰でも出來本業又は副業に適す志望者は來店又は郵券十錢送れ案內書及製品見本急送呈す 京城太平通二大漢門前 太陽ゴム商會 32

勸業債券高價買入 並に債券擔保貸付 京城太平通二丁目 電話二八三一 商業銀行朝鮮債券部 42

新刊書御案內
◎カイゼルの裏面 [illegible] 九〇
◎女探訪 [illegible] 七〇
◎和歌の作りやう [illegible] 六〇
◎畫家の妻 [illegible] 六〇
◎百鬼園の粉粋 [illegible] 三五
◎金與のうろこ [illegible] 三五
◎安易生活と食物の活用 [illegible] 三五
◎女學校出の花嫁さん [illegible] 四〇
◎女は魔性である [illegible] 八五
◎伊太利から英國へ [illegible] 一三五
◎珠玉 [illegible] 九五
◎勞働運動の哲學 [illegible] 一三五
◎哲學と文藝 [illegible] 一二〇
◎農村生活三十年 [illegible] 四五
◎李少南書帖 [illegible] 二〇〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三番

質 堀佐營業所 京城南米倉町二丁目（永樂町停留所北入）（電話六三九番）

大源太郎 葬送の際は雨天にも不拘遠路態々御會葬被成下誠に難有奉存候略儀以紙上厚く御禮申上候
四月八日 仁川高野山下
妻 浦部マキ
弟 豊島重太郎
友人一同

尼崎汽船仁川出帆
○釜山、木浦、下關、神戸、大阪行
大正丸 四月十日 後四時出帆
大有丸 四月九日 後四時出帆
神代丸 四月十八日 後四時出帆
蛟龍丸 月 日 後四時出帆
君が代丸 月 日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 四月九日後五時出帆
○元山清津浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 四月廿六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 矢兵丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
大池回漕部

朝鮮郵船出帆
[illegible]

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
三河丸 四月廿二日 正午出帆
相模丸 四月十日 正午出帆
高砂丸 四月 日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
[illegible]
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 內國通運會社支店

阿波共同汽船仁川出帆
共同丸 釜山、木浦、門司、大阪行 四月 日後二時入港 四月 日前九時出帆
第一明鶴丸 城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 月 日後九時出港
第三西湖丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前八時出帆
（元山出帆） 阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目（電話一〇八番） 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店